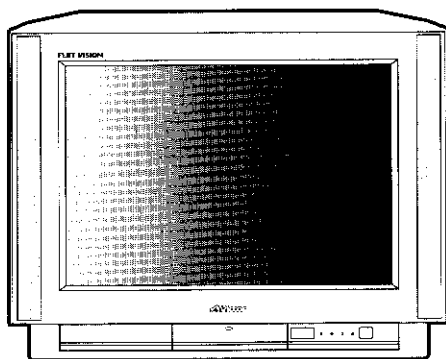


BSチューナー内蔵
ビクターフラットビジョン

型名 **AV-29HF8**

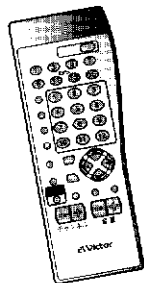
⚠ ご使用の前に**安全上のご注意**(別冊P.2～5ページ)を必ずお読みください。

There are important safety precautions another instruction booklet.
Please have someone who reads Japanese explain them to you.

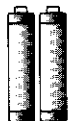


付属品を確認してください

●万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



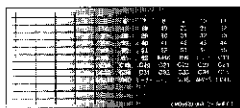
リモコン



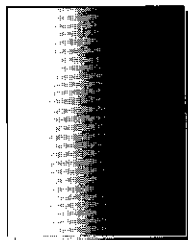
単4電池 2本
(動作確認用)



アンテナコネクター



局名シール



取扱説明書
共通取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用の前にこの取扱説明書および別冊の共通取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

お使いに
なる前に

テレビを見る

設定と調節

接続と準備

故障かな？
仕様

テレビを見るまえに

次の準備はお済みですか？まだでしたら、参照ページをご覧くださいになり準備をしてください。

1. アンテナをつなぐ 別冊の共通取扱説明書のP.6～9

2. ビデオやBSデコーダーなどの機器を接続する P.29～38

●接続する機器の取扱説明書もお読みください。

●接続するまえに、「接続端子のはたらき」(31ページ)もお読みください。

3. 電源プラグを差し込む

●家庭用コンセント(交流100V)に差し込みます。

4. リモコンに電池を入れる P.5

5. テレビの設定をする

☐ 時計合わせ (10ページ)

☐ チャンネル設定 (14ページから17ページ)

☐ BS設定 (18ページ、19ページ)

目次

付属品を確認してください.....	表紙
テレビを見るまえに	2
目次	2～3
各部のはたらきと参照ページ	4～5
テレビを見る	6～7
メニューの操作方法	8～9
時計合わせをする【時計合わせ】	10
タイマー予約機能を使う	
設定した時間が経つと自動的にテレビを消す【オフタイマー】	11
テレビを目覚ましにする【おはようタイマー設定】	11
一週間に以内に放送される番組をオンタイマー予約する【番組予約タイマー設定】	12
タイマー予約の確認・取り消し・変更をする【番組予約確認】	12
今見ている番組を来週も見逃したくない【来週番組予約】	13

チャンネル設定

チャンネル合わせをする【地域チャンネル設定】	14
登録した受信チャンネルを変更するには	15
チャンネル合わせした内容を変更するには【チャンネル編集】	16
CATV（ケーブルテレビ）を見るときは	17
CATV チャンネルを直接選べるようにする【CATV ダイレクト】	17

BS 設定

BS アンテナ（コンバーター）への電源供給の設定をする【BS アンテナ電源】	18
ビデオ 2 入力端子の設定をする【BS デコーダー入力設定】	18
BS アンテナの入力レベルを確認するには【BS アンテナ入力レベル】	19
BS の独立音声を聞くには【TV/ 独立音声設定】	19

節電の設定

節電機能のはたらき	20
節電機能の組み合わせを設定するには【おトク】	21
電源オートオフ機能を個別に設定するには【電源オートオフ設定】	21
テレビを消し忘れないために【テレビ消し忘れ防止】	22
E.E. センサーの効果を確かめるには【E.E. センサー表示】	22

映像・音声を調節する

お好みの色調を選ぶ【白バランス設定】	23
お好みの映像に調節する【映像設定】	24
お好みの音質に調節する【音声設定】	25

ゴースト低減機能の設定

ゴーストとは	26
ゴーストを低減する【GRT】	27
ゴースト低減のオートデモを見るには【GRT オートデモ】	27
ゴースト低減の時間を設定する【GRT 時間設定】	27

ゲーム機をつないで遊ぶときの便利な機能

ゲームボタンを押したときに切り換わるビデオ入力を変えるには【ゲーム入力設定】	28
--	----

BS 機能のないビデオで BS を録画するときの便利な機能【BS ジャック】

端子の設定

ビデオ 1 からの信号をモニター出力させるには【モニター出力設定】	30
コンポーネント映像入力端子を使うための準備【コンポーネント映像入力】	30

接続する

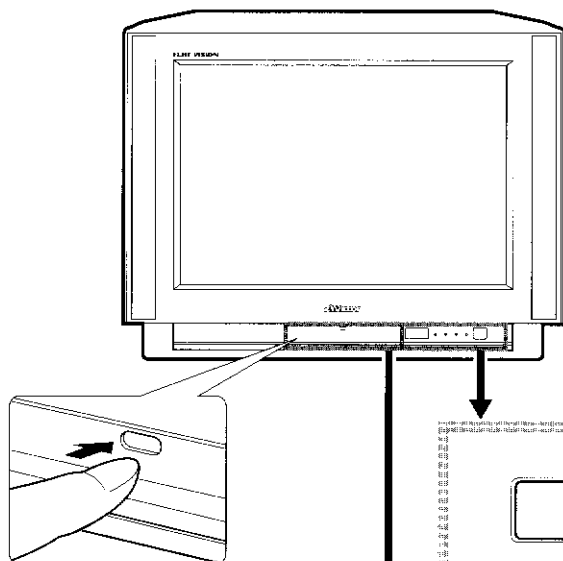
ビデオムービーの接続	33
ビデオデッキの接続	33
BS 内蔵ビデオデッキの接続	33
ビデオデッキと BS デコーダーの接続	34
BS 内蔵ビデオデッキと BS デコーダーの接続	34
ビデオデッキと MUSE-NTSC コンバーターの接続	35
BS 内蔵ビデオデッキと MUSE-NTSC コンバーターの接続	35
ビデオデッキと BS デコーダーと MUSE-NTSC コンバーターの接続	36
BS 内蔵ビデオデッキと BS デコーダーと MUSE-NTSC コンバーターの接続	37
DVD の接続	38

故障かな？と思ったらまず確かめて

主な仕様

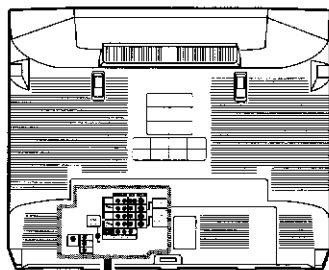
各部のはたらきと参照ページ

テレビ前面



■ドアの開けた

テレビ後面



接続端子については31ページをご覧ください

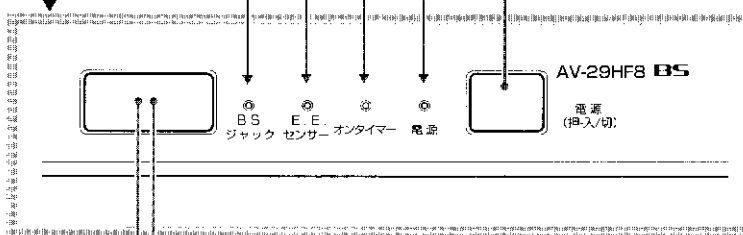
BSジャック中に赤色に点灯します。29ページ

E.E.センサーが「入」のとき、緑色に点灯します。21ページ

タイマーで予約すると、緑色に点灯します。11～13ページ

本体の電源が「入」のとき、赤色に点灯します。6ページ

本体の電源を入/切します。



リモコンから送られてくる信号をキャッチします。

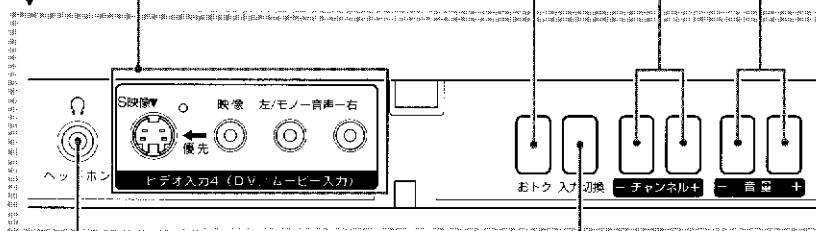
E.E.センサーが「入」のとき、部屋の明るさを感知します。

ビデオムービーやテレビゲーム機などを接続します。28、33ページ

節電の組み合わせを選びます。20ページ

チャンネルを順番に切り換えます。

音量を調節します。



入力を順番に切り換えます。



市販のステレオミニジャック付きのヘッドホン接続します。

テレビ後面は31ページをご覧ください

お使いに
なる前に

リモコン

チャンネル番号や
時刻を表示する
7ページ

映像設定を選ぶ
7ページ

ゲームに適した
映像設定にし、
入力を切り換える
28ページ

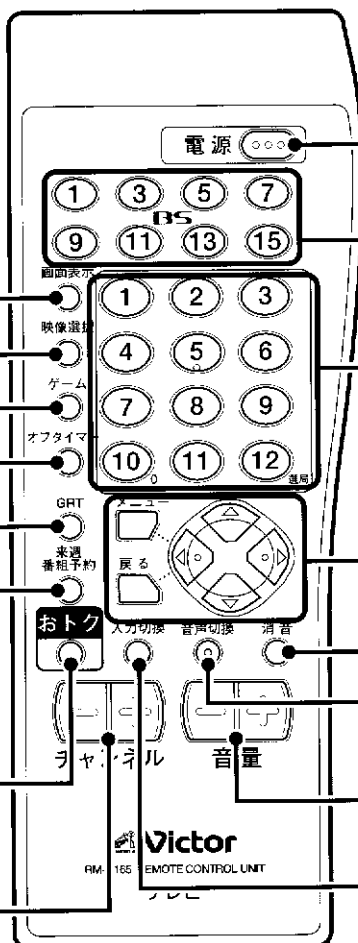
電源を自動的に切る
11ページ

ゴーストを減らす
27ページ

次週、同じ番組を
見逃さないように
オンタイマー予約する
13ページ

節電機能の
組み合わせを選ぶ
21ページ

チャンネルを順番
に変わる 6ページ



電源を入/切する
6ページ

BSチャンネルを選ぶ
6ページ

チャンネルを選ぶ
6ページ

メニュー機能进行操作する
8ページ

音を消す 7ページ

二重音声放送の音声を
切り換える 7ページ

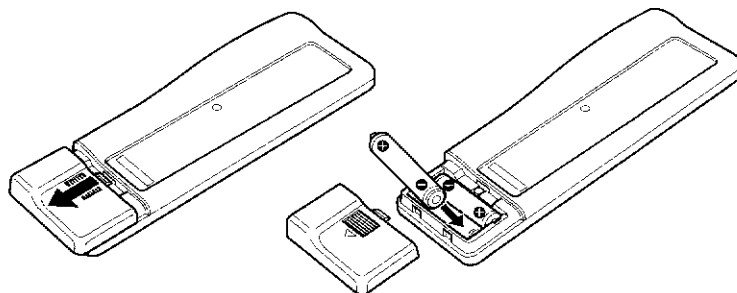
音量を調整する 6ページ

ビデオ機器の映像を見る
7ページ

リモコンに電池を入れる

単4乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の-（マイナス）側を先に入れてください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使い方で、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。



テレビを見る

テレビ本体のボタンの説明は4ページをご覧ください。

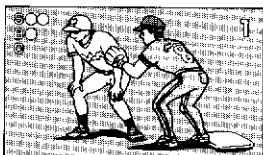
3

チャンネルを選ぶ

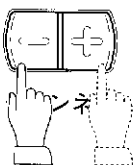
●BSを見るとき



●VHF/UHF/CATVを見るとき



順番にチャンネルを選ぶ



チャンネル+

→1→12→BS1→BS15

チャンネル-

←1←12←BS1←BS15←

●選べるチャンネルを変更したいときは16ページをご覧ください。

1

電源を入れる

電源ランプが赤く点灯します。

電源
(押入/切)

4

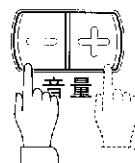
電源を切る

電源

次に電源を入れるときはリモコン側で行えます。

2

音量を調節する

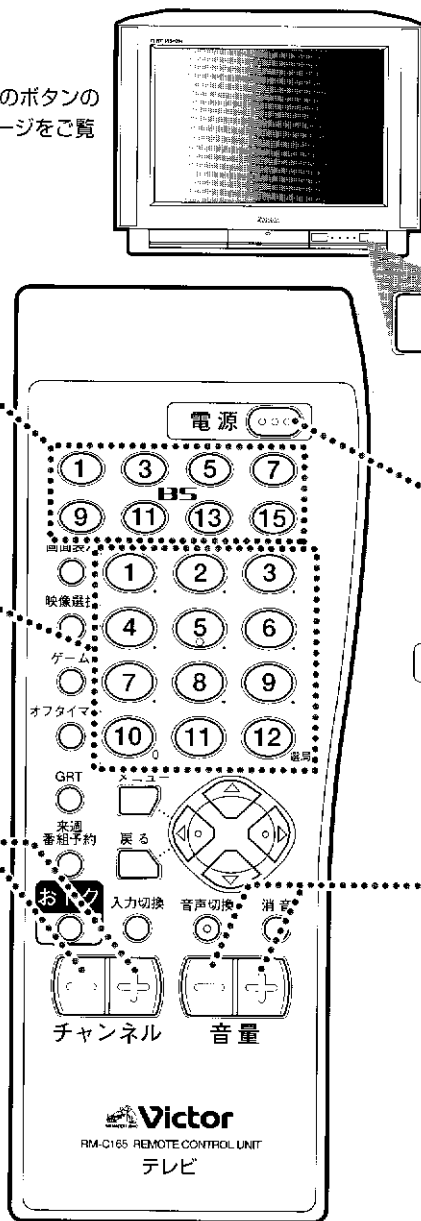


音量+

大きくなる

音量-

小さくなる



1～12のボタンを押してもチャンネルがすぐに切り換わらないときは

- ・2桁の数字でチャンネルを選ぶ「CATVダイレクト」の設定が「入」になっています。17ページの「CATVチャンネルを直接選べるようにする」の説明で、設定を「切」にするか、17ページの「CATVダイレクトの設定を「入」にしたときのチャンネルの選び方」にしたがって操作してください。

状況に合わせて 最適な映像設定を 選ぶ

ダイナミック とても明るいところで見るとき

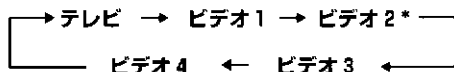
スタンダード ふつうの明るさの部屋で見るとき

シアター 暗めの部屋のときや映画番組などを見るとき

ゲーム テレビゲームをするとき

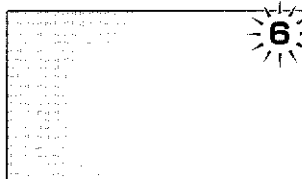
- それぞれの映像設定を自分好みの設定に微調整したいときは「お好みの映像に調節する」をご覧ください。(P.24)

ビデオの画面に切り換える

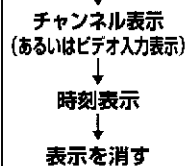


*BSデコーダー接続しているときは、ビデオ2は選べません。(P.18)

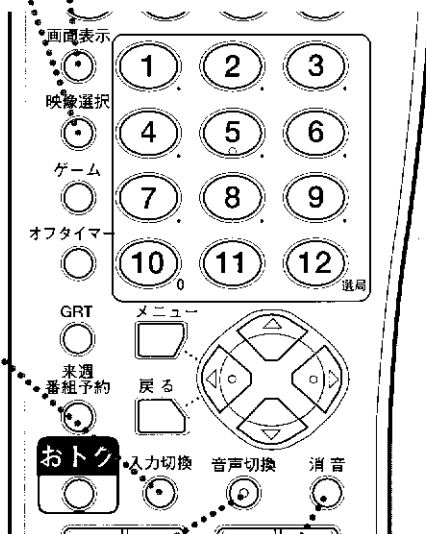
チャンネルや時刻を 表示する



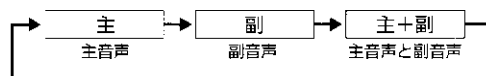
●映像が映ってないときは、表示を消すことはできません。



テレビを見る



二重音声放送のとき 音声を切り換える

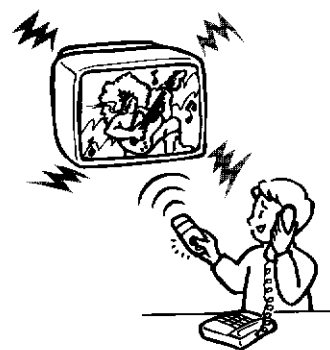


ステレオ ↔ モノラル ステレオ放送のとき

- ステレオ放送中に雑音が入るときは音声切替ボタンを押して、音声をモノラルにすると聞きやすくなります。
- WOWOWなどのBS有料放送の音声はBSデコーダー側で選んでください。

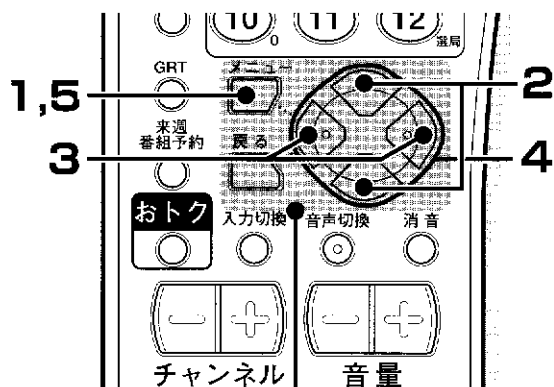
とっさに音を消す

もう一度押すと元の音量に戻ります。



メニューの操作方法

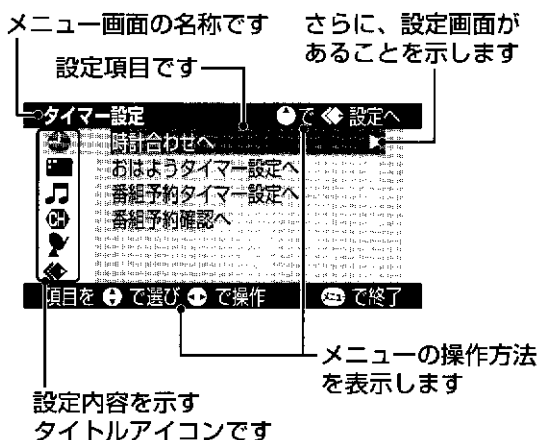
メニューは「チャンネル合わせ」や「映像調節」などのテレビの設定をおこなうときに使います。調節のつまみや切り換えスイッチのかわりに、画面上の文字や絵で設定をおこないます。



メニューの操作で
使用するボタンです

メニューのなまえやはたらき

メニューの選択画面を表示したところ



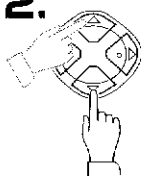
メニューの基本操作

1. メニュー メニューを表示する



※上の画面は表示例です。別の画面が表示される場合もあります。

2. 設定したい項目を選ぶ



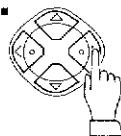
項目をひとつずつ送る場合は

△または▽ボタンを1回ずつ押します。

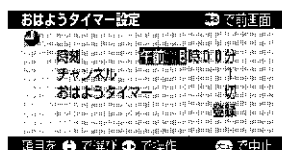
ページ毎に送るには

△または▽ボタンを押したままにします。しばらくするとページ毎に送られます。

3. 設定画面を表示する



・手順2で、選択項目の右端に▶が付いているときに設定画面を表示させることができます。



●このとき、手順2の画面に戻りたいときは、リモコンの「戻る」ボタンを押します。

4. 設定する



△ または ▽ で項目を選び
◀ または ▶ で設定を変える

5. メニュー 設定が終わったら、メニューを終了する



■メニュー画面の種類

タイマー設定画面



時計合わせ画面

おはようタイマー設定画面

番組予約タイマー設定画面

番組予約確認画面

映像設定画面



映像調節画面

音声設定画面



音声調節画面

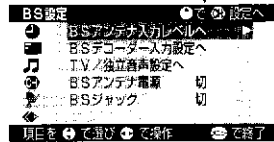
チャンネル設定画面



地域チャンネル設定画面

チャンネル編集画面

BS設定画面

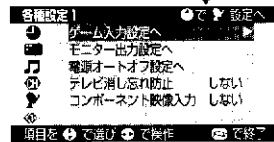


BSアンテナ入力レベル画面

BSデコーダー入力設定画面

TV/独立音声設定画面

各種設定1画面



ゲーム入力設定画面

モニター出力設定画面

電源オフ画面

各種設定2画面



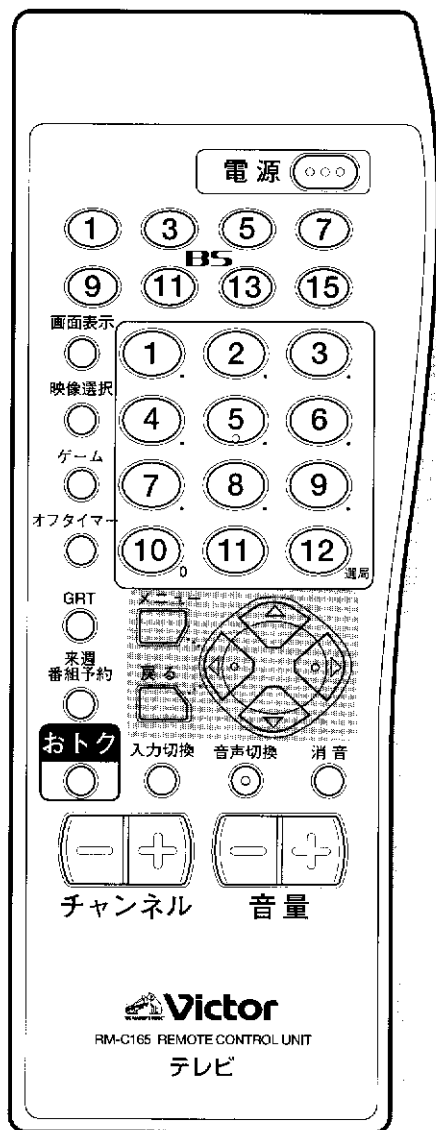
白バランス設定画面

メモ

- メニューは最後に使った画面を記憶しています。メニューボタンを押すと前に使ったメニュー画面が表示されます。(はじめて使うときはタイマー設定画面が表示されます。)

テレビを見る

時計合わせをする



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

時計合わせをする

メニュー 「時計合わせ」

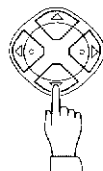
本機に内蔵している時計の時刻を合わせます。時刻を設定しないとタイマー予約機能が使えません。

●タイマー予約機能には、「おはようタイマー」「番組予約タイマー」「来週番組予約」があります。

1. メニュー メニューを表示する

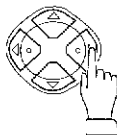


2. タイマー設定画面の「時計合わせへ」を選ぶ



タイマー設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。(メニューの基本操作は8ページ参照)

3. 「時計合わせ」画面を表示する



4. 時刻を設定する

△▽ボタンで項目を選び
◀▶ボタンで曜日・時・分などを設定する

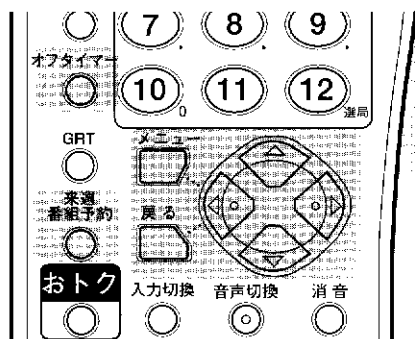
5. 時計をスタートする

▽ボタンで「開始」を選び
▶ボタンで時計をスタートさせます。
・画面に数秒間時刻が表示されます。

●時刻を表示したままにしたいときは、リモコンの画面表示ボタンを押し「時刻表示」を選んでください (P.7)。

●コンセントを抜くと時計は解除されます。再度時計合わせをしてください。

タイマー予約機能を使う



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

テレビを目覚ましにする

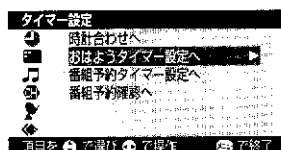
メニュー 「おはようタイマー設定」

設定した時刻になると自動的にテレビの電源が入ります。

●おはようタイマー設定をするには、時計合わせの設定が必要です (P.10)。

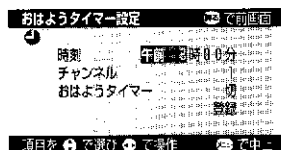
1. メニューを表示する

2. タイマー設定画面の「おはようタイマー設定へ」を選ぶ



タイマー設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 設定画面を表示する



4. 設定を「入」にする

△ または ▽ で項目を選び

◀ または ▶ で設定を変える

時刻 : 毎日テレビに電源を入れる時刻を設定します。

チャンネル : 電源が入ったときに表示させるチャンネルを指定します。

おはようタイマー : タイマーを動作させるときは「入」、動作させないときは「切」を選びます。

5. 設定を登録する

▽で「登録」を選び▶で登録する

●タイマー予約 (おはようタイマー、番組予約、来週番組予約) されると、本体前面のオンタイマーランプが緑色に点灯します。

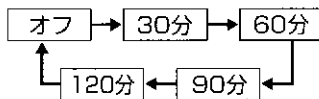
●既に電源が入っているときにおはようタイマーが動作するとチャンネル切換のみ行われます。

設定した時間が経つと自動的にテレビを消す

オフタイマー

テレビを見ていて、寝てしまいそうなときなどに設定しておくとし忘れを防げます。

オフタイマー



設定後は残り時間が表示されます。(チャンネルや入力を切り換えると表示は消えます。)

●残り時間表示が消えているときは、設定した時間の3分前から残り時間が表示されます。

設定時間を変更するには

再度、オフタイマーボタンを押して、時間を設定しなおします。

キャンセルするには

再度、オフタイマーボタンを押して「オフ」を選びます。

ご注意

タイマー予約したときは、必ずリモコンの電源ボタンでテレビの電源を切ってください。

テレビ本体の電源ボタンでテレビの電源を切るとタイマー機能は働きません。

タイマー予約機能を使う(つづき)

一週間以内に放送される番組をオンタイマー予約する

メニュー 「番組予約タイマー設定」

一週間以内に放送されるテレビ番組を、あらかじめ4つまでタイマー予約することができます。

- 番組予約設定をするには、時計合わせの設定が必要です (P.10)。
- 予約できる番組数は、「来週番組予約」と合わせて4番組までです。

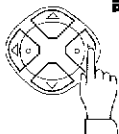
1. メニューを表示する

2. タイマー設定画面の「番組予約タイマー設定へ」を選ぶ



タイマー設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 設定画面を表示する



4. 設定する

- △ または ▽ で項目を選び
- ◀ または ▶ で設定を変える

曜日 : 予約する番組が放送される曜日を設定します。

開始時刻 : 番組の開始時刻を設定します。

チャンネル : 番組のチャンネルを設定します。

5. 予約する

▽ で「予約」を選び ▶ で予約する

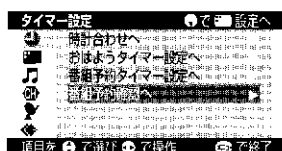
タイマー予約の確認 取り消し・変更をする

メニュー 「番組予約確認」

来週番組予約と番組予約タイマーで予約した内容の確認、取り消し、変更ができます。

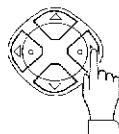
1. メニューを表示する

2. タイマー設定画面の「番組予約確認へ」を選ぶ



タイマー設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 番組予約確認画面を表示する



予約を取り消したい

1. △ ▽ ボタンで取り消したい予約を選ぶ
2. リモコンの「消音」ボタンを押す

予約を変更したい

1. △ ▽ ボタンで消したい予約を選ぶ
2. ▶ ボタンを押す
3. △ ▽ ボタンで変更したい項目に合わせる
4. ◀ ▶ ボタンで変更する
5. ▽ ボタンで「予約」を選び、▶ ボタンで予約する

「番組予約を登録しました」と表示されます。

今見ている番組を 来週も見逃したくない

来週番組予約

番組を見ているとき、「来週も見たい、見逃したくない」と思ったとき簡単に番組をタイマー予約することができます。

- 来週番組予約をするには、時計合わせの設定が必要です (P.10)。
- 予約できる番組数は、「番組予約タイマー設定」と合わせて4番組までです。

1. 予約したい番組中に「来週番組予約」ボタンを押す

来週
番組予約



来週番組予約

来週のこの番組を予約します
午前 8時00分からの予約です

●で予約 ●で変更 ●で取消

2. 予約時刻を確認する

予約時刻を変えたいときは、リモコンの2ボタンを押し、別の候補を表示させます。

- 予約時刻の候補は、曜日や時間帯により1つ～3つ用意されています。詳しくは、右の表をご覧ください。

3. リモコンのチャンネル1ボタンを押す



「番組予約を登録しました」と表示されます。

- タイマー予約 (おはようタイマー、番組予約、来週番組予約) されると、本体前面のオンタイマーランプが緑色に点灯します。
- 既に電源が入っているときに来週番組予約が動作すると、チャンネル切換のみ行われます。
- その日に予約が入っているときは、電源を入れてから約15秒経過すると「本日 番組予約があります」と表示されます。また動作3分前になると①マークが画面の左上に表示され、まもなくタイマーが動作することを知らせます。

来週番組予約の開始時刻

月曜日～土曜日

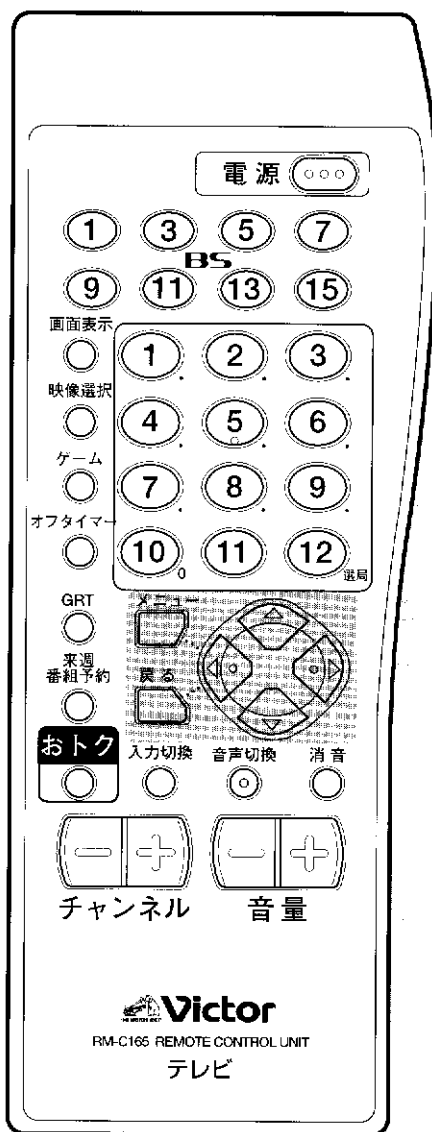
現在時刻	設定時刻データ1	設定時刻データ2	設定時刻データ3
午前 0時	午前 0時 00分		
午前 1時	午前 1時 00分		
午前 2時	午前 2時 00分		
午前 3時	午前 3時 00分		
午前 4時	午前 4時 00分		
午前 5時	午前 5時 00分		
午前 6時	午前 6時 00分	午前 6時 30分	
午前 7時	午前 7時 00分	午前 7時 30分	
午前 8時	午前 8時 00分	午前 8時 30分	
午前 9時	午前 9時 00分	午前 9時 30分	
午前 10時	午前 10時 00分	午前 10時 30分	
午前 11時	午前 11時 00分	午前 11時 30分	
午後 0時	午後 0時 00分	午後 0時 30分	
午後 1時	午後 1時 00分	午後 0時 00分	午後 1時 30分
午後 2時	午後 2時 00分	午後 1時 00分	午後 2時 30分
午後 3時	午後 3時 00分	午後 2時 00分	午後 3時 30分
午後 4時	午後 4時 00分	午後 3時 00分	午後 4時 30分
午後 5時	午後 5時 00分	午後 5時 30分	午後 4時 30分
午後 6時	午後 6時 00分	午後 6時 30分	
午後 7時	午後 7時 00分	午後 7時 30分	
午後 8時	午後 8時 00分	午後 7時 00分	午後 7時 30分
午後 9時	午後 9時 00分	午後 9時 30分	
午後 10時	午後 10時 00分	午後 9時 00分	午後 10時 30分
午後 11時	午後 11時 00分	午後 11時 30分	

日曜日

現在時刻	設定時刻データ1	設定時刻データ2	設定時刻データ3
午前 0時	午前 0時 00分	午後 11時 00分	
午前 1時	午前 1時 00分		
午前 2時	午前 2時 00分		
午前 3時	午前 3時 00分		
午前 4時	午前 4時 00分		
午前 5時	午前 5時 00分		
午前 6時	午前 6時 00分	午前 6時 30分	
午前 7時	午前 7時 00分	午前 7時 30分	
午前 8時	午前 8時 00分	午前 8時 30分	
午前 9時	午前 9時 00分	午前 9時 30分	午前 8時 00分
午前 10時	午前 10時 00分	午前 10時 30分	
午前 11時	午前 11時 00分	午前 11時 30分	午前 10時 00分
午後 0時	午後 0時 00分	午後 0時 30分	
午後 1時	午後 1時 00分	午後 1時 30分	
午後 2時	午後 2時 00分	午後 1時 00分	午後 0時 00分
午後 3時	午後 3時 00分	午後 2時 00分	
午後 4時	午後 4時 00分	午後 3時 00分	
午後 5時	午後 5時 00分	午後 4時 00分	午後 5時 30分
午後 6時	午後 6時 00分	午後 6時 30分	
午後 7時	午後 7時 00分	午後 7時 30分	
午後 8時	午後 8時 00分	午後 7時 00分	
午後 9時	午後 9時 00分		
午後 10時	午後 10時 00分	午後 10時 30分	午後 9時 00分
午後 11時	午後 11時 00分	午後 11時 30分	午後 9時 30分

テレビを見る

チャンネル設定



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

チャンネル合わせをする

メニュー 「地域チャンネル設定」

地域番号を指定するだけで、簡単にしかも一括してチャンネル合わせを行えます。

- 地域番号については、別冊の共通取扱説明書をご覧ください。

1. 地域番号を調べる

お住まいの地域に近い地域番号を探します。

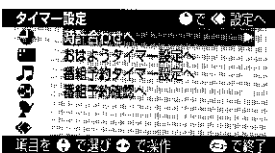
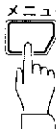
- このとき受信したい放送局が、最も多く割り振られている地域番号を選んでください。

2. チャンネルボタンを押す



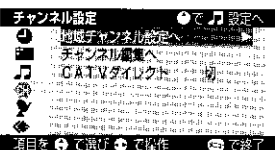
- ・TV モードにするための操作です。VHF か UHF のチャンネルを選んでください。

3. メニューを表示する



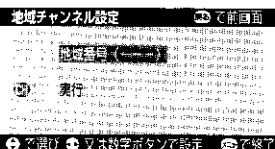
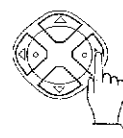
※上の画面は表示例です。別の画面が表示される場合もあります。

4. チャンネル設定画面の「地域チャンネル設定へ」を選ぶ



- ・「地域チャンネル設定へ」が緑色になります。

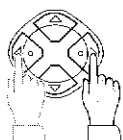
5. 「地域チャンネル設定」画面を表示する



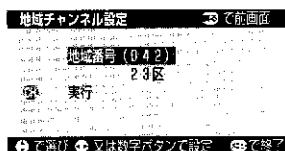
- ・「地域番号」が緑色になっています。

(次ページへつづく)

6. 地域番号を入力する



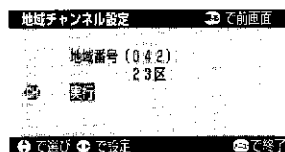
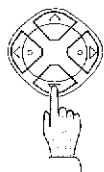
手順 1 で調べた地域番号が表示されるまで押し続けます。



●チャンネルボタン1から10を押して地域番号を設定することもできます。

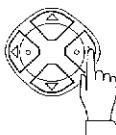
- ・10 ボタンは数字の「0」として使います。
- ・(例) 23区 (042) を設定するとき→0 ボタン・4 ボタン・2 ボタンを押す。

7. 「実行」に合わせる



・「実行」が緑色になっています。

8. 実行する



受信チャンネルが設定され、設定結果が表示されます。

リモコン	受信	表示	リモコン	受信	表示
2	CH 14	2	7	CH 7	7
3	CH 3	3	8	CH 8	8
4	CH 4	4	9	CH 42	9
5	CH 6	5	10	CH 10	10
6	CH 6	6	11	CH 46	11
			12	CH 12	12

項目を で選び で受信を変更 で前画面 で終了

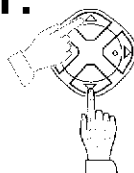
●設定した受信チャンネルを他のチャンネルに変更したいときは、設定結果表示中に右の操作をしてください。

9. メニューを終了する

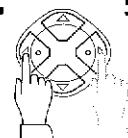


登録した受信チャンネルを変更するには

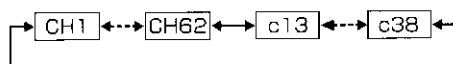
1. 変更したい受信(チャンネル)を選ぶ



2. 受信(チャンネル)を変更する



・目的のチャンネルが表示されるまで押し続けます。

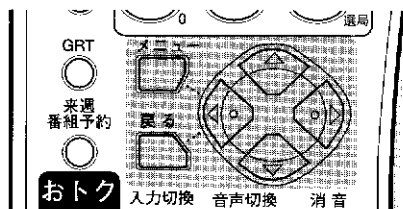


3. メニューを終了する



●受信(チャンネル)が「-----」の表示になっている場合はここでは変更できません。16 ページのチャンネル編集で受信チャンネルを追加登録してください。

チャンネル設定(つづき)



メニュー操作の説明は 8 ページから 9 ページです。

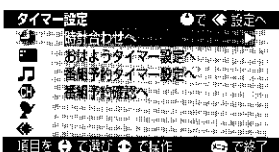
チャンネル合わせした内容を変更するには

メニュー 「チャンネル編集」

チャンネル合わせした内容を変更したり、ひとつずつチャンネル合わせを行うときに使います。チャンネル編集では、次の編集が行えます。

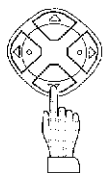
- ・受信チャンネルの追加
- ・受信チャンネルの変更
- ・画面に表示するチャンネル番号の変更
- ・受信状態が悪いときに、きれいに映すために微調整する「ファイン調整」
- ・チャンネル＋／－ボタンを押したときに、スキップさせるかを決める「スキップ設定」

1. メニュー メニューを表示する



※上の画面は表示例です。別の画面が表示される場合もあります。

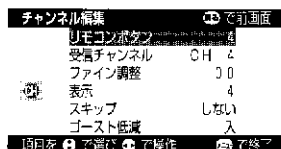
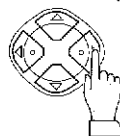
2. チャンネル設定画面の「チャンネル編集へ」を選ぶ



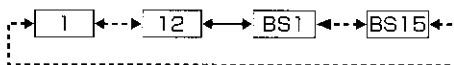
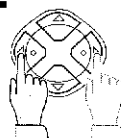
・「チャンネル編集へ」が緑色になります。チャンネル設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

(右上につづく)

3. 編集画面を表示する



4. 編集したいリモコンボタンの番号を選ぶ



5. 内容の変更(チャンネル編集)を行う

△ または ▽ で項目を選び

◀ または ▶ で設定を変える

受信チャンネル : 受信したいチャンネルの番号を表示させます。

ファイン調整 : 受信状態が悪いときに微調してください。最も映像が綺麗に映るように調整します。

表示 : 画面に表示するチャンネル番号を選びます。

スキップ : チャンネル＋／－ボタンを押したときにスキップするかしないかを決めます。放送を受信していない場合は、「スキップする」に設定します。

ゴースト低減 : ゴーストを低減したいとき「入」にします。

●BSチャンネルの編集は、スキップ設定のみ行うことができます。

6. 他のチャンネルボタンの内容を編集したいときには手順4、5を繰り返します。

7. メニュー メニューを終了する



CATV(ケーブルテレビ)を見るときは

CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV会社にご相談ください。

CATVを見るための準備

- CATV会社と受信契約をする
- CATVケーブルを接続する
- CATVのチャンネル合わせをする

CATVのチャンネル合わせをするには

リモコンのチャンネルボタン1から12に、空きがあるときにCATVのチャンネル合わせを行います。

前ページの「チャンネル編集」のなかで、CATVチャンネルを登録します。

手順5のときに受信したいCATVチャンネルを選んでください。

CATVのチャンネル数が多く、リモコンのチャンネルボタンにCATVチャンネルを登録することができないとき

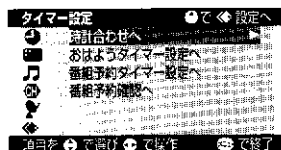
CATVチャンネルを直接選局できるように設定できます。

設定方法については、右の説明をご覧ください。

CATVチャンネルを直接選べるようにする

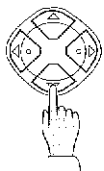
メニュー「CATVダイレクト」

1. メニューメニューを表示する



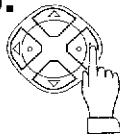
※上の画面は表示例です。別の画面が表示される場合もあります。

2. チャンネル設定画面の「CATVダイレクト」を選ぶ



「CATVダイレクト」が緑色になります。チャンネル設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 設定を「入」にする



「入」：CATVチャンネルが直接数字で選局できるようになります。
「切」：リモコンのチャンネルボタンに割り当ててCATVチャンネルを選局出来るようにします。

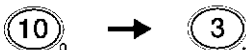
4. メニューメニューを終了する



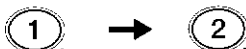
CATVダイレクトの設定を「入」にしたときのチャンネルの選び方

2桁でチャンネル番号を選びます。

例1：チャンネル3を選局するには



例2：チャンネル12を選局するには



例3：CATVのチャンネル13を選局するには

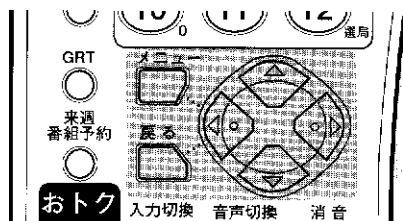


1桁のチャンネルを選局するとき、以下の方法でも選局することができます。

例1：3を押して少し待つ

例2：3を押して12(選局)を押す

BS 設定



メニュー操作の説明は 8 ページから 9 ページです。

BS アンテナの入力レベルを確認するには

メニュー 「BS アンテナ入力レベル」

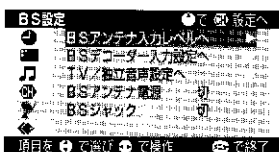
BS アンテナ設置時、BS アンテナの向きを調節するのにお使いください。

1. **放送されている BS チャンネルを選ぶ**

・BS モードにするための操作です。

2. **メニューを表示する**

3. **BS 設定画面の「BS アンテナ入力レベルへ」を選ぶ**



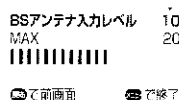
BS 設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

4. **入力レベル確認画面を表示し、BS アンテナの向きを調節する**

MAXの数値に近づくように、アンテナの向きを調節します。

BS7

・数値は目安です。数値が小さくても映像が映っていれば問題ありません。



△で前画面 ▽で終了

調整中に表示された入力レベルの最大値を表示します。

5. **メニューを終了する**

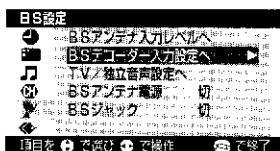
ビデオ2入力端子の設定をする

メニュー 「BS デコーダ入力設定」

テレビ後面のビデオ2入力端子は、BS デコーダ入力端子と兼用になっています。接続機器によりどちらの使い方をするかを設定する必要があります。

1. **メニューを表示する**

2. **BS 設定画面の「BS デコーダ入力設定へ」を選ぶ**



BS 設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. **「BS デコーダ入力設定」画面を表示する**



4. **設定をする**

使用する「オート」：ビデオ2入力端子にBS デコーダやMUSE-NTSCコンバーターを接続するとき

使用する「強制」：将来、衛星を利用した新方式の放送を受信するとき

使用しない「ビデオ2」：ビデオ2入力端子にビデオ機器を接続するとき

5. **メニューを終了する**

●BS ジャック中はBS デコーダ入力設定はできません。

BSの独立音声を聞くには

メニュー 「TV／独立音声設定」

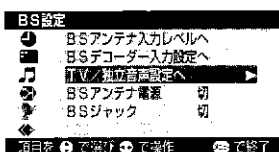
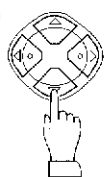
独立音声放送が行われているとき、独立音声を聞くことができます。

1. ^{BS} ①……⑮ 独立放送が行われているBSチャンネルを選局する

2. ^{メニュー} メニューを表示する

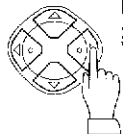


3. BS設定画面の「TV／独立音声設定へ」を選ぶ



BS 設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

4. 「TV／独立音声設定」画面を表示する

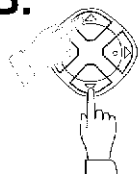


TV／独立音声設定 ②で初画面

Aモード
○ TV ステレオ
- 独立 -

Aモードの時に ④で設定 ⑤で終了

5. 音声を選ぶ



TV: ご覧になっている番組の音声を聞くとき

独立: 番組とは関係ない音声を聞くとき

6. ^{メニュー} メニューを終了する



● St.GIGA などの有料放送の音声は BS デコーダー側で音声を選んでください。

BSアンテナ(コンバーター)への電源供給の設定をする

メニュー 「BSアンテナ電源」

BS アンテナ設置時の設定です。

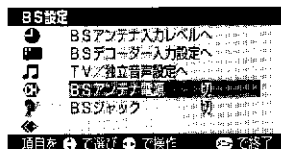
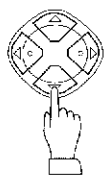
BS アンテナ (コンバーター) へ本機から電源を供給するかどうかを設定します。

1. ^{BS} ⑦ BSチャンネルを選ぶ

2. ^{メニュー} メニューを表示する

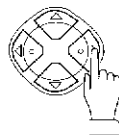


3. BS設定画面の「BSアンテナ電源」を選ぶ



BS 設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

4. 設定をする



押す度に「入」と「切」が切り換わります。

入 (連動) : 本機から BS アンテナのコンバーターに電源を供給するとき

切 : 本機から電源を供給しないとき

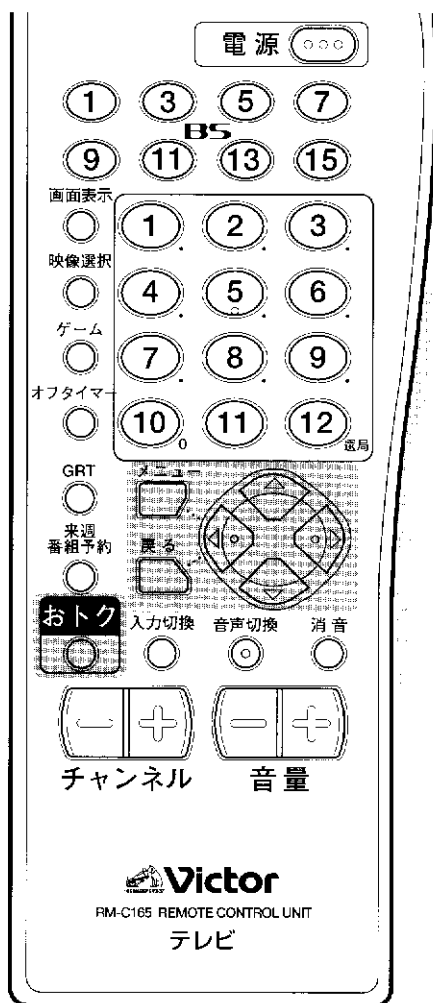
● 共聴アンテナの場合や他のBS機器から電源を供給するときは「切」にします。

5. ^{メニュー} メニューを終了する



● 共聴アンテナなど、他の機器から電源を供給しているときに、BS アンテナ電源を「入 (連動)」にすると「BS アンテナ電源を確認下さい」と表示されます。このメッセージが表示されたときには、設定を「切」にしてください。また、設定を「切」にしたときに BS が映らなくなる場合は、BS アンテナやケーブル類、コネクター部の劣化によるショートが考えられます。販売店に確認してください。

節電の設定



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

節電機能のはたらき

本機には、以下の節電機能があります。

●BS 電源オートオフ：

BS チャンネルを見ていないときやBS ジャックを「切」にしているときに、BS 回路部の電源やBS コンバーターへの電源供給を自動的に切って節電します。

●無信号電源オートオフ：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切ります。

●深夜電源オートオフ：

深夜のテレビの消し忘れを防ぐ機能です。設定した時間になると電源を自動的に切って節電します。

この機能を使うには、本機の時計合わせが必要です。(P.10)

●テレビ消し忘れ防止：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。約3時間何も操作しなかったときに電源を切って節電します。

E.E. センサー機能

Ecology & Economy (目にやさしい消費電力) + Electronic Eye (電子の目) の略です。

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。

■「おトク」ボタンの設定と各節電機能の関連は下表のようになります。

おトク	E.E. センサー	BS 電源 オートオフ	無信号電源 オートオフ	深夜電源 オートオフ	テレビ消し忘れ 防止
おトク 入	○	○	○	○ (注)	△
E.E. センサー 入	○	△	△	△	△
おトク メニュー連動	×	△	△	△	△
E.E. センサー 切	×	△	△	△	△

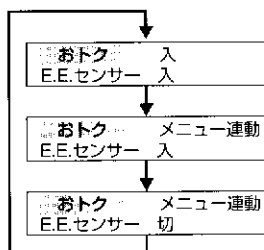
○：動作します。 △：メニューの設定によって動作が決まります。 ×：動作しません。

注：メニューが「しない」のときは午前2時に設定されます。それ以外は設定のとおり動作します。

節電機能の組み合わせを設定するには

おトク

おトクボタンを使って、複数の節電設定が簡単にできます。



おトク	入
E.E. センサー	入

：最も効率よく節電したいときに選びます。
3つの「おトク」機能（電源オートオフ機能）とE.E. センサー機能のすべてを「入」にします。

おトク	メニュー連動
E.E. センサー	入

：必要な節電機能を使いたいときに選びます。
3つの「おトク」機能（電源オートオフ機能）は「メニュー連動」になります。
E.E. センサー機能は「入」になります。

おトク	メニュー連動
E.E. センサー	切

：E.E. センサー機能を使わず、必要な節電機能だけを「入」にしたい時に選びます。
3つの「おトク」機能（電源オートオフ機能）は「メニュー連動」になります。
E.E. センサー機能は「切」になります。

● E.E. センサーを「入」にすると本体前面のE.E. センサーランプが点灯します。

電源オートオフ機能を個別に設定するには

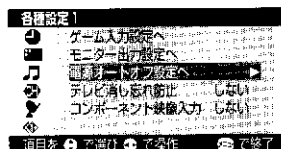
メニュー 「電源オートオフ設定」

おトクボタンで「おトク メニュー連動」を選択したとき、ここで「する」に設定した電源オートオフが働くようになります。

1. メニューを表示する

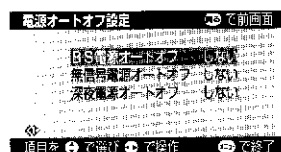
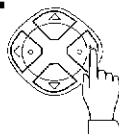


2. 各種設定1画面の「電源オートオフ設定へ」を選ぶ



各種設定1画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 設定画面を表示する



4. 設定をする

△ または ▽ で項目を選び

◀ または ▶ で設定を変える

する : オートオフ機能が動作します。
しない : オートオフ機能は動作しません。

「深夜電源オートオフ」の場合

午前0時 : 午前0時に電源を切る

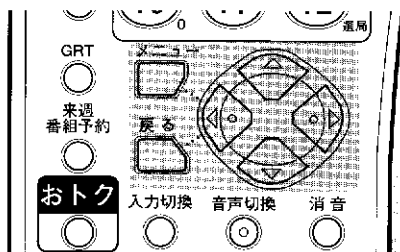
午前1時 : 午前1時に電源を切る

午前2時 : 午前2時に電源を切る

5. メニューを終了する



節電の設定(つづき)



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

テレビを消し忘れないために

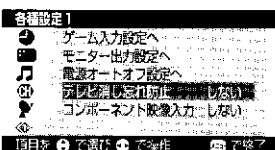
メニュー 「テレビ消し忘れ防止」

約3時間何も操作しなかったときにテレビの電源を自動的に切るか切らないかを設定します。

1. メニュー メニューを表示する

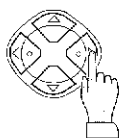


2. 各種設定1画面の「テレビ消し忘れ防止」を選ぶ



各種設定1画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 設定をする



「する」：何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

「しない」：この機能を使わないときに選びます。

4. メニュー メニューを終了する



E.E. センサーの効果を確かめるには

メニュー 「E.E. センサー表示」

E.E. センサーを使ったとき、どのように画面の明るさが変わるかを確かめることができます。

1. メニュー メニューを表示する

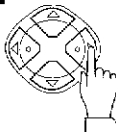


2. 各種設定2画面の「E.E. センサー表示」を選ぶ



各種設定2画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 設定を「入」にする



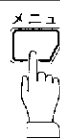
「入」：E.E. センサーの効果を確かめるとき選びます。
部屋の明るさが変化すると♡マークが表示され、E.E. センサーの動作を確認することができます。

おトク 入
E.E.センサー 入 ♡♡♡♡

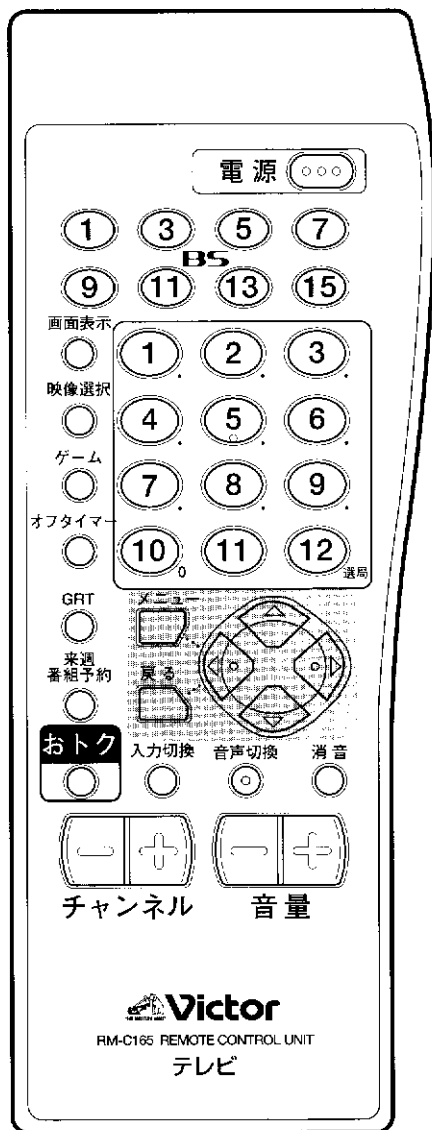
● 部屋が暗くなるに従い♡マークがたくさん表示されます。

「切」：E.E. センサーの効果を確かめる必要がないとき選びます。

4. メニュー メニューを終了する



映像・音声を調節する



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

お好みの色調を選ぶ

メニュー 「白バランス設定」

画面全体の色調を選ぶことができます。

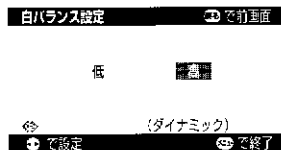
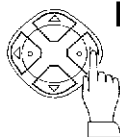
1.  メニューを表示する。

2. 各種設定2画面の「白バランス設定へ」を選ぶ

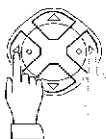


各種設定2画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 「白バランス設定」画面を表示する



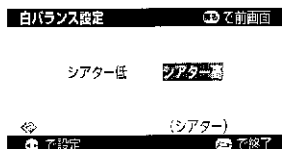
4. 色調を選ぶ



低：赤身が少し強くなる(暖かになる)
高：標準
青みが少し強くなる(さわやかになる)

5.  メニューを終了する

●映像選択でシアターを選択しているとき、手順3の「白バランス設定」画面は次のように表示されます。



映像・音声を調節する(つづき)

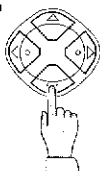
お好みの映像に調節する

「ダイナミック」「スタンダード」「シアター」「ゲーム」の映像設定をお好みにあわせて調節できます。

1. メニューを表示する

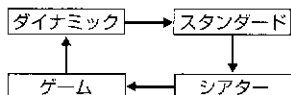


2. 映像設定画面を表示する



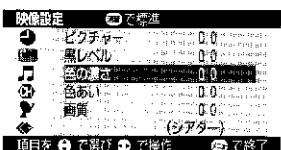
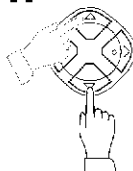
映像設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 映像選択 調節したい映像設定を選ぶ



●選んだ映像設定ごとに設定することができます。

4. 調節したい項目を選ぶ



5. 好みの状態に調節する

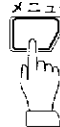


設定項目	調節の目安
ピクチャー	暗く・淡く 明るく・濃く 明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く 明るく 見やすい明るさに
色の濃さ	淡く 濃く 交互に調節して
色あい	赤っぽく 緑っぽく 健康的な肌色に
画質	やわらか くっきり 好みのりんかくに

●△▽ボタンあるいは「戻る」ボタンを押すと手順4の画面に戻ります。繰り返し、別の項目の調整をしてください。

6. 他の映像選択(シアター、ゲームなど)を調節するときには手順3～5を繰り返す

7. メニューを終了する



●映像設定値を標準値に戻したいときは、手順4のときに「消音ボタン」を押してください。

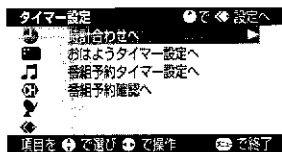
(右上につづく)



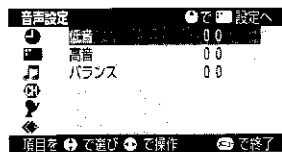
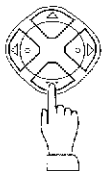
メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

お好みの音質に調節する

1. メニューを表示する

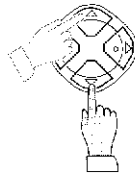


2. 音声設定画面を表示する

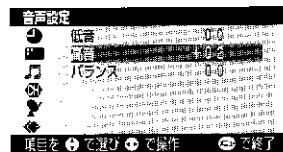
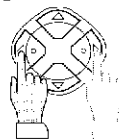


音声設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. 調節したい音声設定の項目を選ぶ



4. 好みの状態に調節する



調節項目	◀	▶
低音	低音を弱める	低音を強める
高音	高音を弱める	高音を強める
バランス	左の音を大きく	右の音を大きく

●手順3、4を繰り返して必要な項目をすべて調節します。

5. メニューを終了する



(右ページにつづく)

ゴースト低減機能の設定

ゴーストとは

ビルなどの高い建物や山などがある場合、テレビの電波がビルや山に反射し、その反射した電波をアンテナが受信してしまうことがあります。この反射した電波を受信すると映像が2重3重に映ることがあります。この反射した電波の映像を「ゴースト」といいます。



(例) 人物の後ろにゴーストが映っている

放送局によりゴーストを低減できる場合とできない場合があります

本機のゴースト低減機能は、放送局から送られてくるものGCR(Ghost Cancel Reference)という基準信号をもとにゴースト低減を行なっています。

したがって、この信号が送られていない場合は、ゴースト低減はできません。

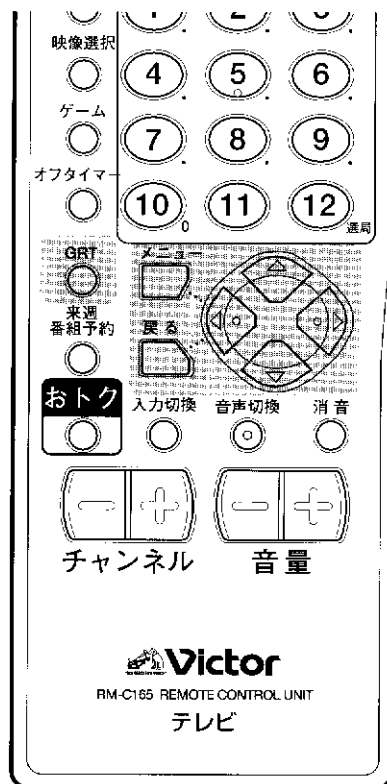
■GCR信号が送られていない放送局

- ・「群馬テレビ」、「琵琶湖放送」、BS放送、CS放送、CATV放送(一部のCATVは除く。CATVについては、ご契約のCATV会社にお問い合わせください。)

(平成10年6月現在)

ご注意

- 次のような場合は、ゴースト低減の効果ができません。
 - ・GCR信号が送られていないとき
 - ・ゴーストが常に変動するとき
 - ・ゴーストの電波が強いとき
 - ・10以上のゴーストがあるとき
 - ・ビデオデッキからの映像のとき
- ゴースト低減を動作させることにより、見苦しい映像になる場合は、ゴースト低減の設定を「切」にしてください。
- チャンネル切り換えをした直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- アンテナを設置するときには、ゴースト低減の設定を「切」にしてから行なってください。
- 電波が弱いときにゴースト低減機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナの向きは正しく設置しないと、ゴーストが低減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けます。)



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

ゴーストを低減するには

工場出荷時に、すでに各チャンネルごとにゴーストを低減するように設定されています。

また、地域チャンネル設定(14ページ)でチャンネル合わせをした場合もゴースト低減するように設定されます。

ゴースト低減機能が動作するタイミング

チャンネルを切り換えたときに、ゴースト低減の動作をします。

- チャンネルを切り換えた直後は、ゴーストを低減するための動作の影響で映像がちらついたり、明るさが変化し、不安定な映像になることがあります。これは、ゴースト低減の動作をしているためで、処理が終われば、映像は安定し、ゴーストの少ない映像でお楽しみいただけます。

ゴーストを低減する

GRT

テレビを見ているときにもゴースト低減設定を簡単に変更することができます。

1. GRT ボタンをする



押す度に「入」と「切」が切り換わります。

GRT (ゴースト低減) 入 ゴースト低減をする
↓
GRT (ゴースト低減) 切 ゴースト低減をしない

ゴースト低減の時間を設定する

メニュー「GRT時間設定」

チャンネル切換直後はゴースト低減処理が行われるため映像が不安定になることがあります。この不安定な処理中の映像を画面にリアルタイムに表示させるか、あるいは、ある程度ゴースト低減の処理を終えてから画面に表示させるかを指定することができます。

1. メニューを表示する

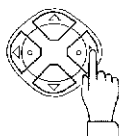


2. 各種設定2画面の「GRT時間設定」を選ぶ



各種設定2 設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

3. ▢ボタンを押して設定をする

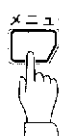


押す度に「標準」と「短い」が切り換わります。

「標準」：通常は、「標準」を選んでください。

「短い」：「標準」では、ゴースト低減効果が現れるのが遅いと感じる場合や効果を確認しながらテレビをご覧になりたい場合に選んでください。

4. メニューを終了する

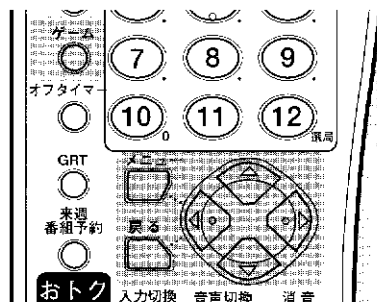


ゴースト低減のオートデモを見るには

ゴースト低減の効果をオートデモで確認することができます。

1. メニューボタンを押す。
2. △または▽ボタンを押して、「各種設定2画面」を表示させ、その中の「GRTオートデモ」を選ぶ
3. ▢ボタンを押して「入」に設定する
4. メニューボタンを押す
・オートデモが始まります。
5. オートデモを終了するときは、手順1、2の操作を繰り返し、▢ボタンを押して「切」に設定する

ゲーム機をつないで遊ぶときの便利な機能

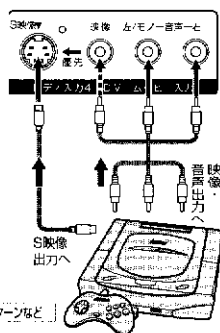


メニュー操作の説明は
8ページから9ページ
です。

ゲームボタンを押すだけで、「映像選択」「ビデオ入力」「白バランス」の設定を一度に切り換えることができます。

1. ゲーム機をビデオ4につなぐ

- ゲーム機の取扱説明書も合わせてお読みください。



2. ゲームボタンを押す

映像選択は「ゲーム」、ビデオ入力は「ビデオ4」、白バランスは「低」が選択されます。

ゲームボタン 入

3. ゲーム機の電源を入れる

4. ゲームをして遊ぶ

5. ゲームを楽しんだあとは、ゲームボタンを押して、ゲームボタン「切」にする。もとのチャンネル(あるいはビデオ入力)に戻ります。

- ゲームボタン「入」になっているとき、午前10時00分や午前11時00分など正時になると現在時刻が点滅表示されます。遊びすぎ防止にお役立てください。(「時計合わせ」(P.10) をしておく必要があります。)
- ビデオ入力4以外にゲーム機を接続するときは、メニューの「ゲーム入力設定」で切換先を変更することができます。(右の説明をご覧ください。)
- ゲームを使っているときに、テレビの電源を切った後、すぐに電源を入れると映像が映らないことがあります。このようなときは、チャンネルボタンを押してからゲームボタンを押してください。

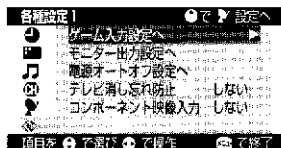
ゲームボタンを押したときに切り換わるビデオ入力を変えるには メニュー「ゲーム入力設定」

ゲームボタンを押すと、ここで設定したビデオ入力に連動して切り換わるようになります。

1. メニュー メニューを表示する

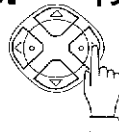


2. 各種設定1画面の「ゲーム入力設定へ」を選ぶ

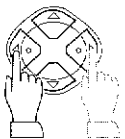


各種設定1画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 「ゲーム入力設定」画面を表示する



4. 設定を変更する



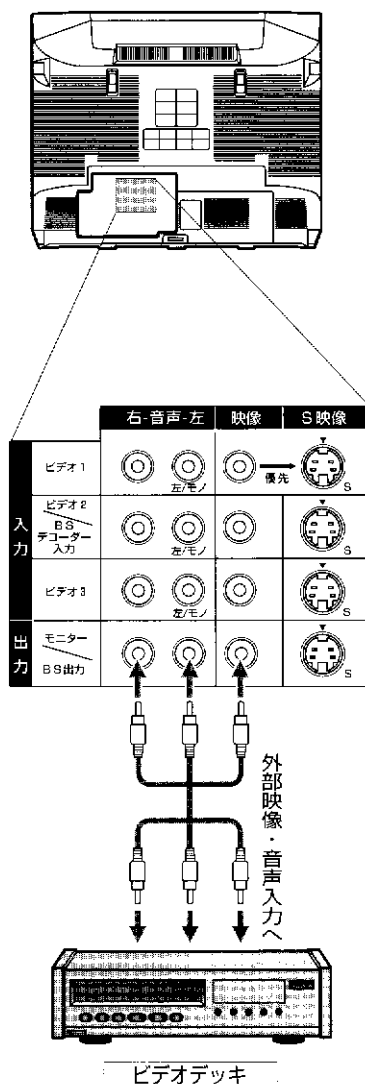
- ビデオ4 : ゲームボタンを押したときビデオ4に切り換わります。
- ビデオ3 : ゲームボタンを押したときビデオ3に切り換わります。
- ビデオ2 : ゲームボタンを押したときビデオ2に切り換わります。
- ビデオ1 : ゲームボタンを押したときビデオ1に切り換わります。
- 設定しない : ゲームボタンを押したとき入力切換は行われません。

5. メニュー メニューを終了する



- BSデコーダーを本機につないでいるときは「ビデオ2」は選択できません (P.18)。

BS機器のないビデオでBSを録画する



BSチャンネルを固定するには

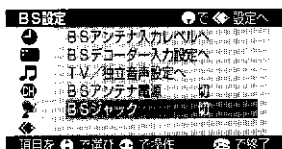
メニュー 「BSジャック」

録画したいBS放送を固定させて、録画中に他のBSチャンネルに切り換わらないようにすることができます。

1. ^{BS} ①…⑮ 録画したいBSチャンネルを選局する

2. ^{メニュー} メニューを表示する

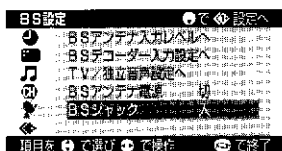
3.  BS設定画面の「BSジャック」を選ぶ



BS設定画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押し続けて表示させてください。

4.  設定を「入」にする

テレビ前面のBSジャックランプが点灯します。



5. ^{メニュー} メニューを終了する

6. ビデオデッキで録画をする

7. 録画が終わったら「BSジャック」の設定を「切」にする

- ・手順1～5を参照にしてください。
- ・「BSジャック」の設定を「切」にするとテレビ前面のBSジャックランプが消えます。

BSジャック「入」のときにできること

- ・BS以外のチャンネルを見たり、ビデオ入力の映像を見ることができます。
- ・モニター/BS出力端子からは、固定したBSチャンネルの映像と音声が出力されます。

ご注意

- BSジャックが「入」のときは、他のBSチャンネルは選局できません。
- 主電源を切るとBS放送の録画はできません。

接続と準備

端子の設定

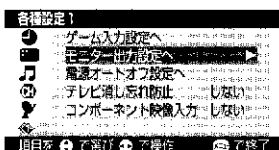
ビデオ1からの信号を モニター出力させるには メニュー「モニター出力設定」

ビデオ1に接続した機器の映像・音声を確認しながらダビングしたいときに設定します。

1. メニュー メニューを表示する

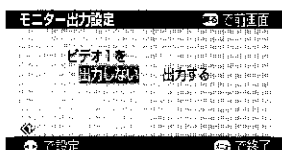
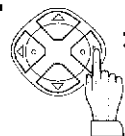


2. 各種設定1画面の「モニター出力設定へ」を選ぶ

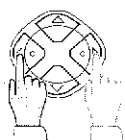


各種設定1画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 「モニター出力設定」画面を表示する

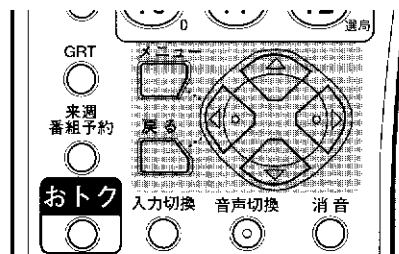


4. 設定を変更する



出力する：ビデオ1の信号をモニター出力端子から出力できるようにします。
出力しない：ビデオ1の信号は、モニター出力端子から出力できません。

5. メニュー メニューを終了する



メニュー操作の説明は
8ページから9ページです。

コンポーネント映像入力 端子を使うための準備

メニュー「コンポーネント映像入力」

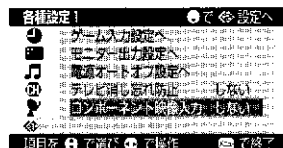
コンポーネント映像入力端子は、ビデオ3入力端子と共有しているため、使用する場合には端子の設定が必要になります。コンポーネント映像出力端子を備えたDVDプレーヤーなどを接続するときに設定します。

●DVDプレーヤーの接続のしかたは、38ページをご覧ください。

1. メニュー メニューを表示する

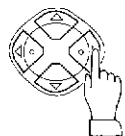


2. 各種設定1画面の「コンポーネント映像入力」を選ぶ



各種設定1画面が表示されていないときは、△または▽ボタンを押して続けて表示させてください。

3. 設定を変更する



する：コンポーネント映像入力端子に機器を接続するとき
しない：本機後面のコンポーネント映像入力端子を使用しないとき

4. メニュー メニューを終了する

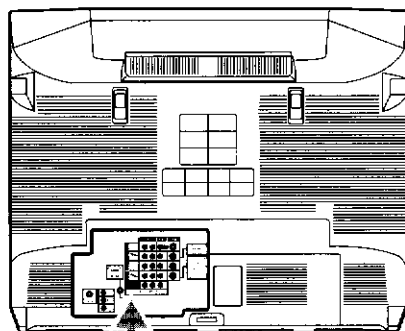


接続する

お手持ちの機器にあったページをご覧くださいになり接続してください。(次ページ)

また、接続の際にはこのページの「接続端子のはたらき」および、接続機器の取扱説明書もご覧ください。

接続端子のはたらき



映像端子とS映像端子を両方とも接続しているときはS映像端子の信号が優先されます。

ビデオデッキなどのAV機器を接続します。

BSデコーダーを接続します。(P.34、36、37)
BSデコーダー入力としてご使用にならない場合は、ビデオデッキなどのAV機器を接続します。

●ビデオ2/BSデコーダー入力端子の設定が必要です。(P.18)

コンポーネント映像出力機能のないDVDプレーヤーを接続します。(P.38)

DVDプレーヤーを接続しない場合はビデオデッキなどのAV機器を接続します。

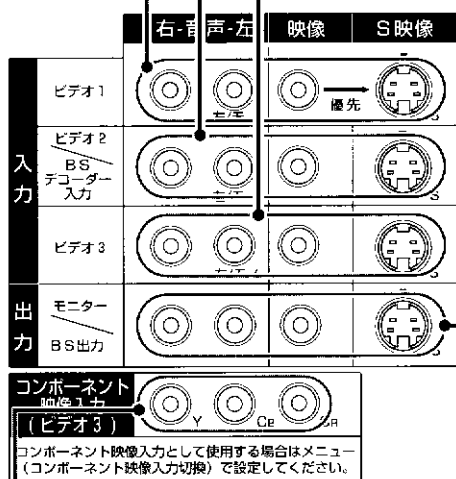
●コンポーネント映像入力(ビデオ3)の設定が必要です。(P.30)

MUSE-NTSCコンバーターのAFC出力、検波入力端子に接続します。(P.35~37)

BSコンバーター
電源電圧
DC15V
最大4W

VHF/UHF
アンテナ入力

VHF/UHFアンテナやCATVケーブルを接続します。
(別冊の共通取扱説明書 P.6、7参照)



・BSデコーダー入力として使用する場合はメニュー(BSデコーダー入力設定)で設定してください。

・ビデオ1に入力した信号は出力されません。

ビデオデッキを接続します。(P.33)

ふだんはモニター出力端子として機能し、テレビに映っている映像とその音声を出力します。
BS出力端子として使用する場合は、BSジャック「入」にするとときに選んでいたBSチャンネルのみを出力します。(P.29)

●BSジャック「入」のときには、S映像端子からの映像は出力されません。

コンポーネント映像出力機能を備えたDVDプレーヤーを接続します。(P.38)
ビデオ3のS映像入力端子から入力するよりも忠実に色を再現できるため、より良い映像でご覧いただけます。

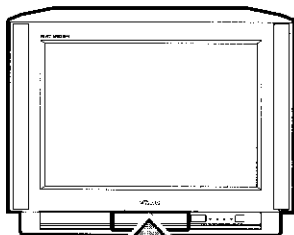
●コンポーネント映像入力(ビデオ3)の設定が必要です。(P.30)

BSアンテナを接続します。(別冊の共通取扱説明書 P.8、9参照)

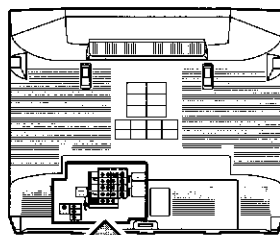
BSデコーダーのビットストリーム入力端子、検波入力端子に接続します。(P.34、36、37)

接続と準備

接続する(つづき)



テレビ前面端子
(前面のドアを開けて接続します。)



テレビ後面端子

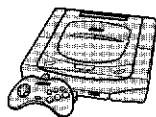
一時的に機器を接続するとき

ビデオムービー



●33ページをご覧ください。

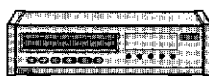
テレビゲーム機



●28ページをご覧ください。

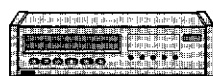
ビデオデッキなどを接続するとき

ビデオデッキ



●33ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ

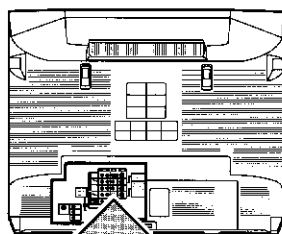


●33ページをご覧ください。

DVDプレーヤー



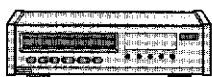
●38ページをご覧ください。



テレビ後面端子

複数の機器を組み合わせるとき

ビデオデッキ



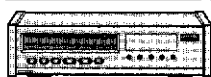
+

BSデコーダー



●34ページをご覧ください。

ビデオデッキ



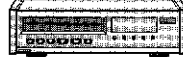
+

MUSE-NTSCコンバーター



●35ページをご覧ください。

ビデオデッキ



+

BSデコーダー



+

MUSE-NTSCコンバーター



●36ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



+

BSデコーダー



●34ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



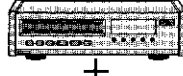
+

MUSE-NTSCコンバーター



●35ページをご覧ください。

BS内蔵ビデオデッキ



+

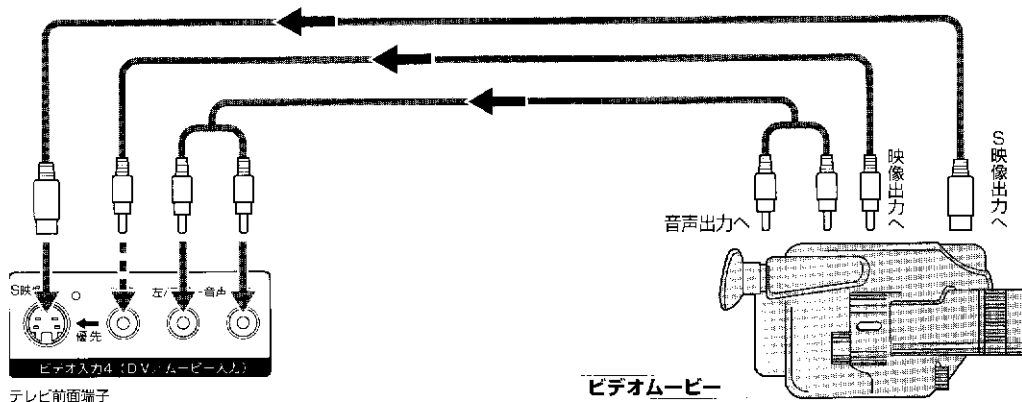
BSデコーダー



●37ページをご覧ください。

ビデオムービーの接続

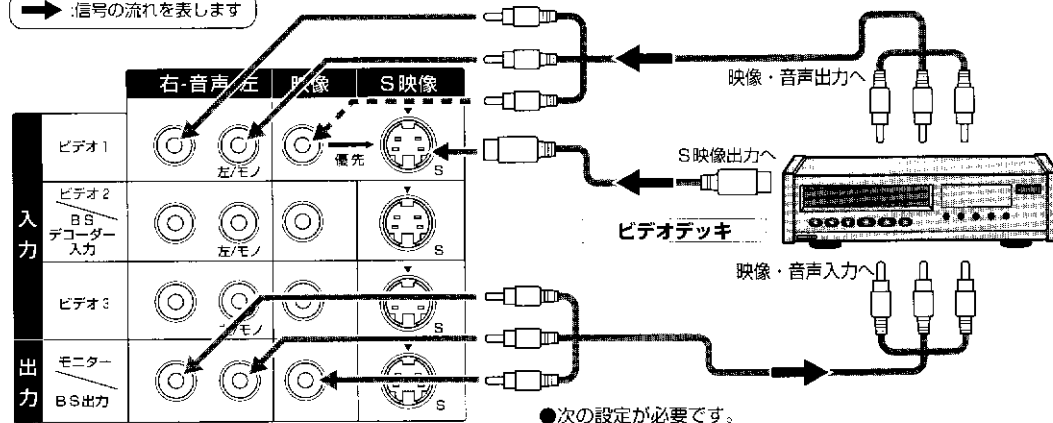
→ 信号の流れを表します



テレビ前面端子

ビデオデッキの接続

→ 信号の流れを表します



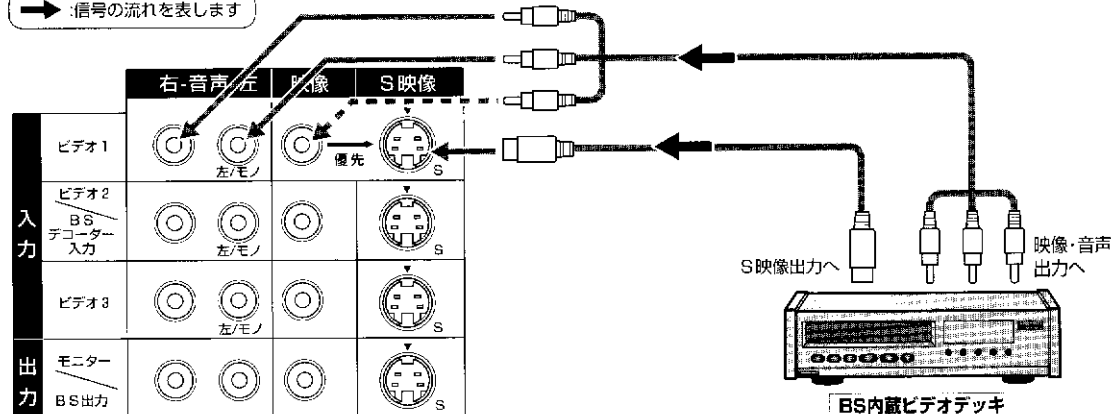
●次の設定が必要です。

モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

テレビ後面端子

BS内蔵ビデオデッキの接続

→ 信号の流れを表します

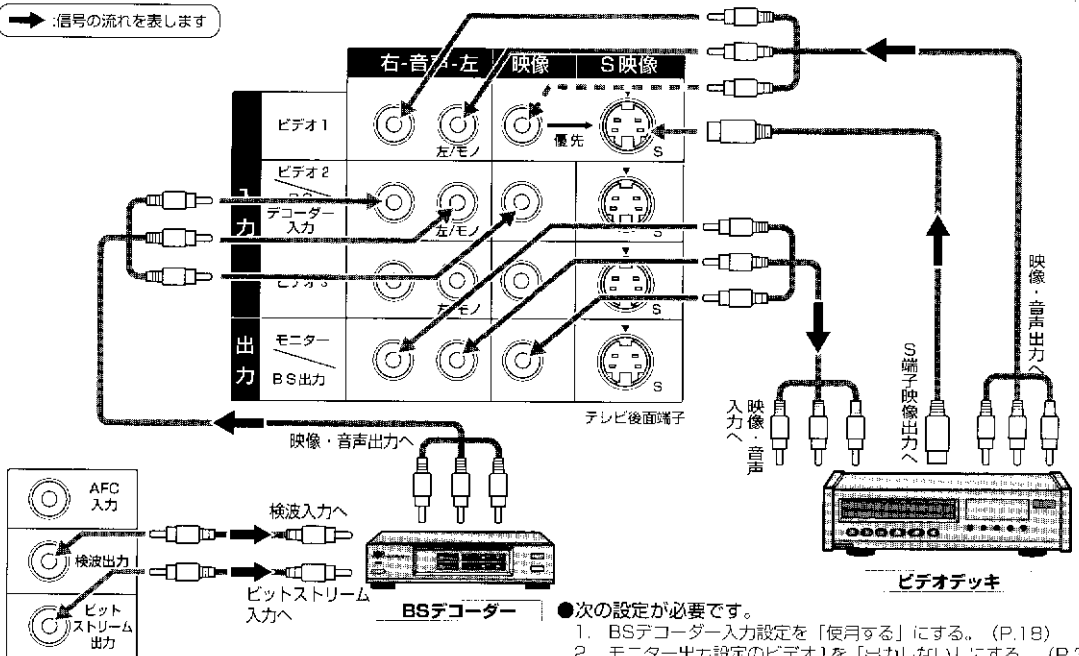


テレビ後面端子

接続と準備

■ビデオデッキとBSデコーダーの接続

→ : 信号の流れを表します

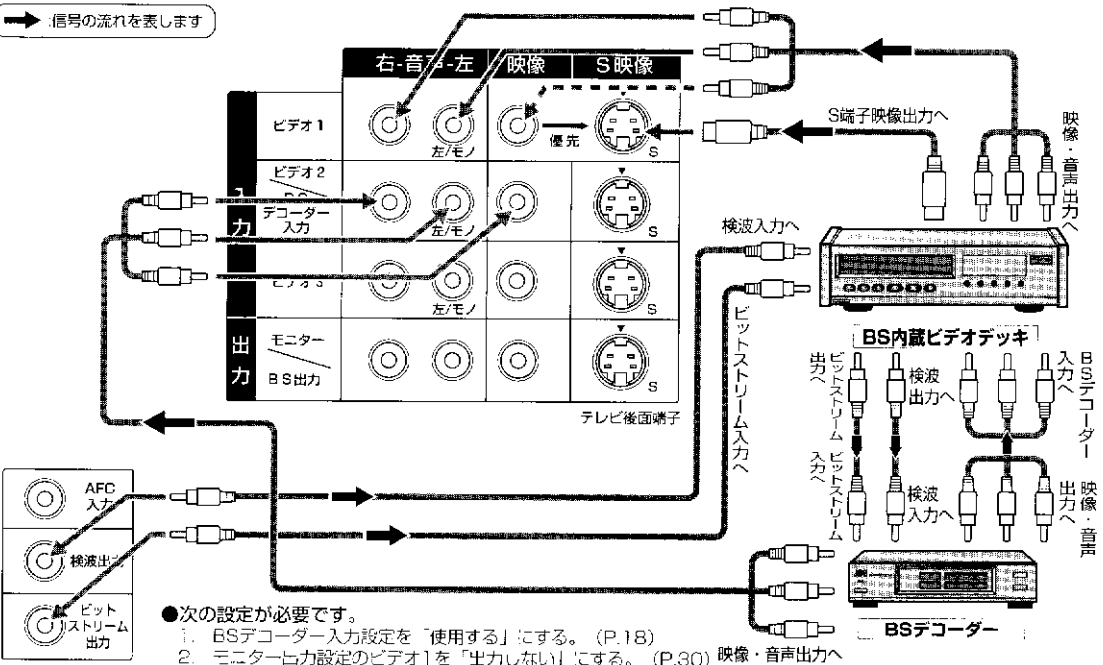


●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

■BS内蔵ビデオデッキとBSデコーダーの接続

→ : 信号の流れを表します



●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30) 映像・音声出力へ

WOWOWを見るには

1. BSデコーダーの電源を入れる
2. BS5チャンネルを選ぶ

・二重音声はBSデコーダー側で選びます。

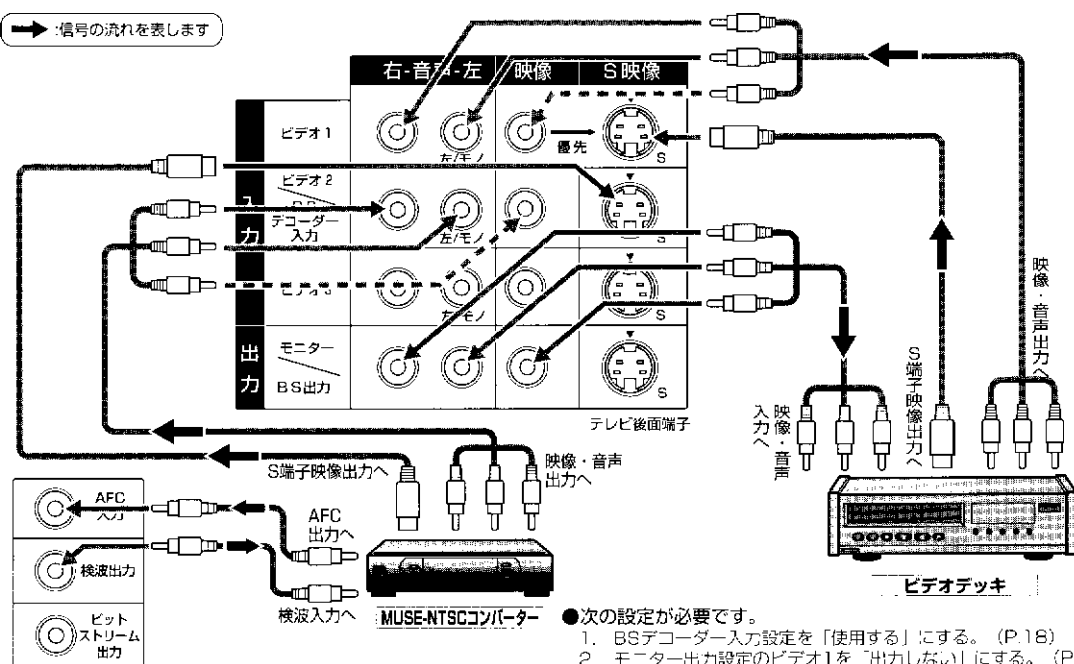
St.GIGAを聞くには

1. BSデコーダーの電源を入れる
2. BS5チャンネルを選ぶ

・独立音声はBSデコーダー側で選びます。

■ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続

→ : 信号の流れを表します

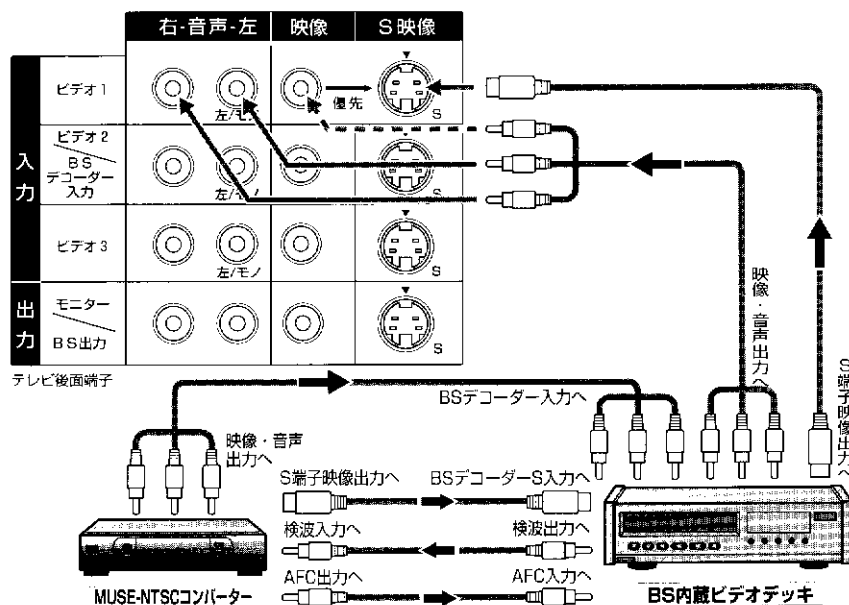


●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

■BS内蔵ビデオデッキとMUSE-NTSCコンバーターの接続

→ : 信号の流れを表します



●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

接続と準備

ハイビジョン番組を見るには

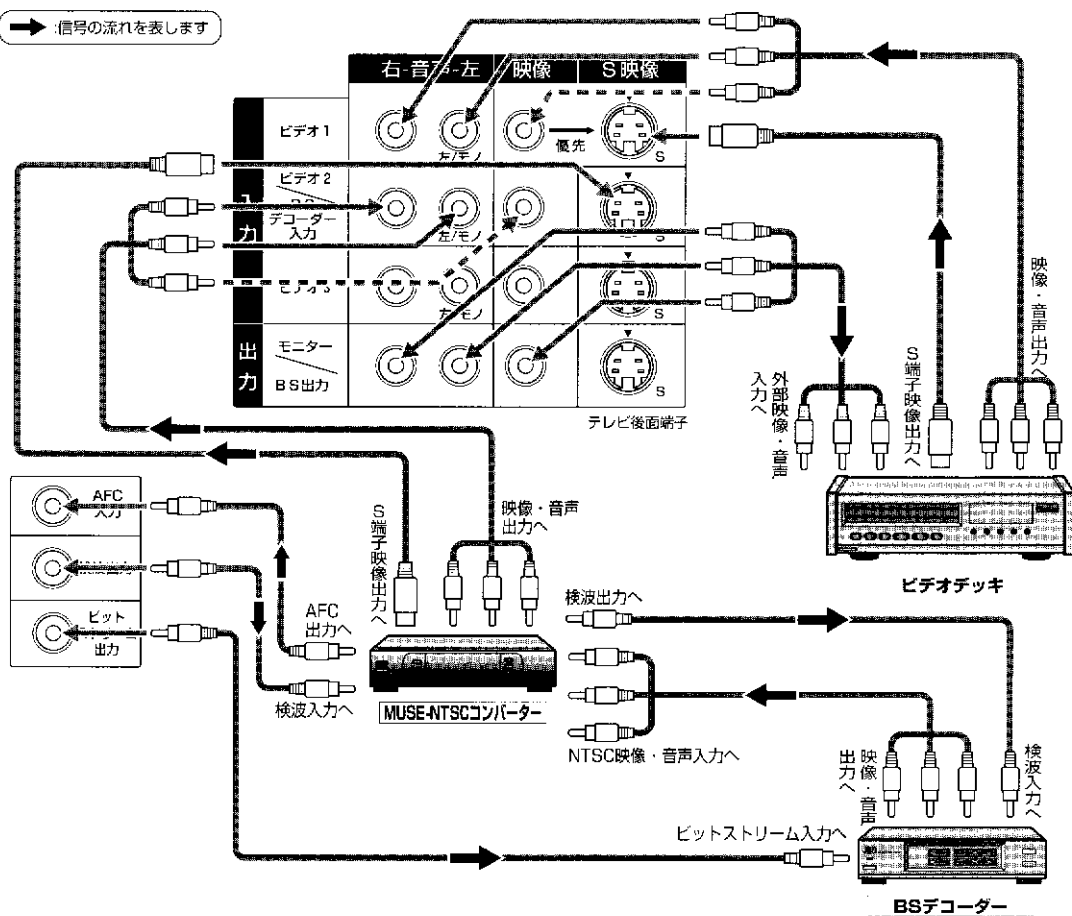
1. MUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2. BS9 チャンネルを選ぶ

・BS内蔵ビデオデッキを接続している場合は、テレビの入力をビデオ1に切り換え、ビデオデッキ側でBS9チャンネルを選んでください。

・二重音声は、MUSE-NTSC コンバーター側で選びます。

■ビデオデッキとBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続

→ 信号の流れを表します



●次の設定が必要です。

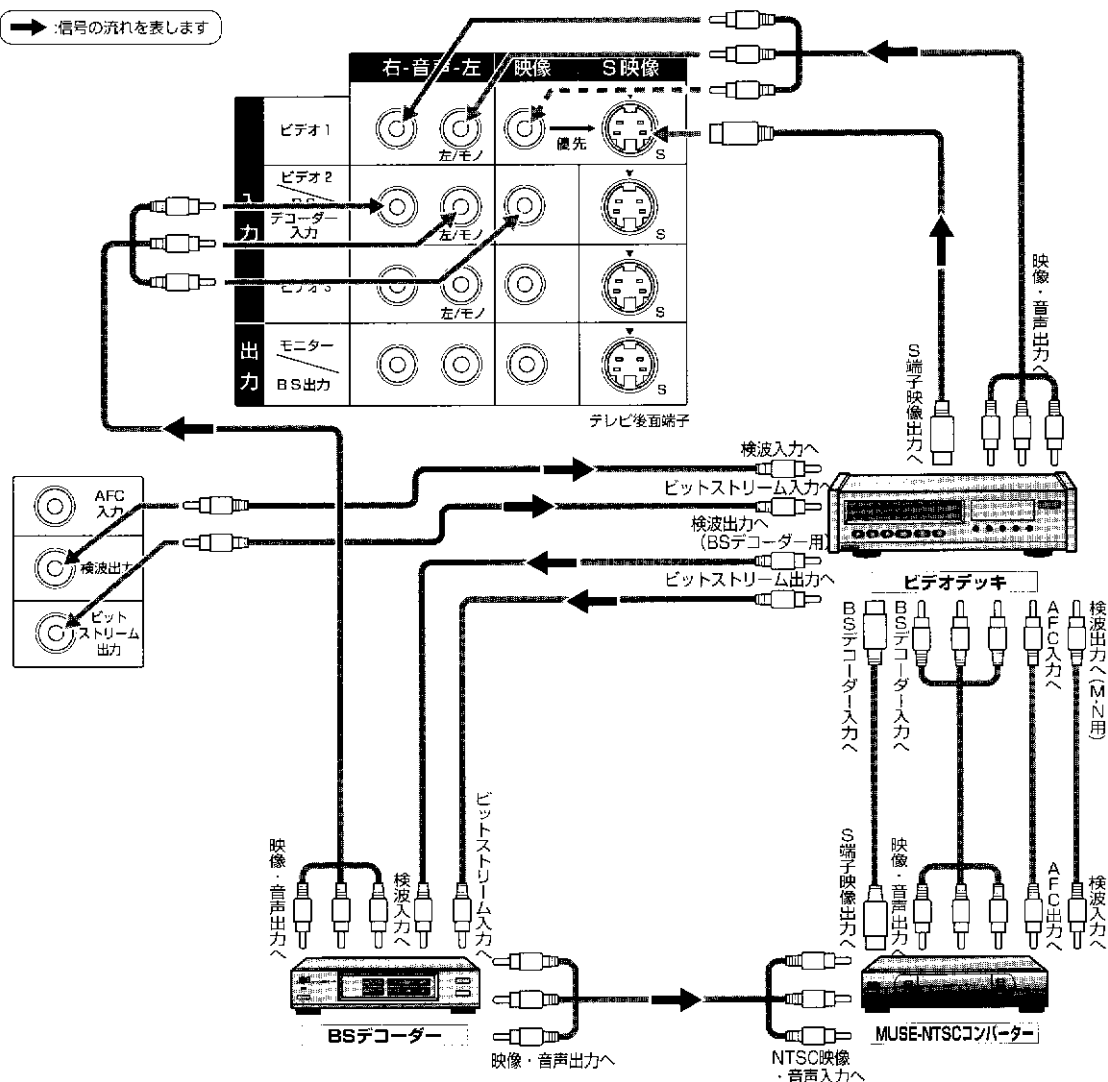
1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

BS放送を見るには／ハイビジョン番組を見るには

1. テレビ側でBSチャンネルを選ぶ

■BS内蔵ビデオデッキとBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続

→:信号の流れを表します



●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。(P.18)
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。(P.30)

接続と準備

BS放送を見るには

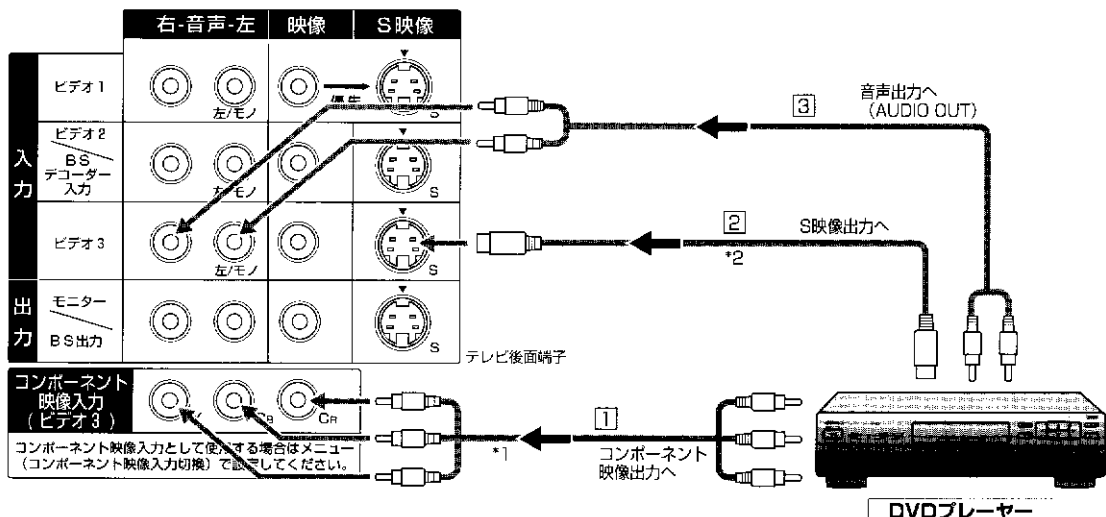
1. テレビ側でBSチャンネルを選ぶ

ハイビジョン番組を見るには

1. テレビの入力をビデオ1にする
2. ビデオ側でBS9チャンネルを選ぶ

■DVDプレーヤーの接続

→ 信号の流れを表します



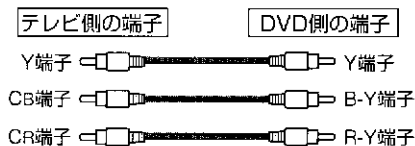
■DVDプレーヤーにコンポーネント映像出力があるとき

①、②、③の3種類のケーブルを接続してください。

■DVDプレーヤーにコンポーネント映像出力がないとき

②、③の2種類のケーブルを接続してください。

*1 コンポーネント映像用のケーブルは、DVD用コンポーネントビデオコード（別売）などをご使用ください。また、DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子がY、B-Y、R-Yの場合は、次のように接続してご覧ください。



*2 コンポーネント映像用のケーブルを接続している場合でも、S映像端子はできるだけ接続してください。S映像端子を通してDVDの映像サイズ切替信号を受け取ることができます。

■接続したあとは次の設定をしてください

- ・DVDプレーヤーのマルチアスペクト（画面サイズ）の設定をワイド画面用に設定してください。詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- ・コンポーネント映像出力端子の有無に合わせて、本機のコンポーネント映像入力の設定をしてください。（P.30）

●次の設定が必要です。

1. BSデコーダー入力設定を「使用する」にする。（P.18）
2. モニター出力設定のビデオ1を「出力しない」にする。（P.30）

故障かな?と思ったらまず確かめて

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。

それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状

ここをお確かめください

電源が入らない

・電源プラグがはずれていませんか。

リモコンで操作できない

・本体の電源ランプは点灯していますか。
点灯していなければ本体の電源ボタンを押してください。
・電池の消耗が考えられます。操作できるか確認してください。

VHF、UHFが映らない

・アンテナは正しく接続されていますか。(別冊の共通取扱説明書参照)
・チャンネル合わせは済んでいますか。(P.14～16)

CATVが映らない

・受信契約はお済みですか。
・ケーブルは正しく接続されていますか。
・チャンネル合わせは済んでいますか。(P.14～16)

BSが映らない

・BSアンテナは正しく接続されていますか。(別冊の共通取扱説明書参照)
・BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.18)
・コンバーターへ電源が供給されていますか。(P.18)

BS有料放送が映らない

・BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.34)
・BSデコーダーの電源は入っていますか。
・BSデコーダー入力設定は「使用する」になっていますか(P.18)

チャンネル合わせができない

・VHF、UHF チャンネルを選んでいませんか。
BSチャンネルやビデオ入力などを選んでいると設定できません。

色が出ない、おかしい

・受信周波数がずれていませんか。
チャンネル編集でファイン調整を試みてください。(P.16)
・色あいや色の濃さの調節をしていませんか。
映像調節の設定を標準にしてください。(P.24)

音が出ない

・ヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。(P.4)

音が出ない(BSのみ)

・独立音声の放送がないときに、独立音声を選んでいませんか。(P.19)

音声がかぶって聞こえる

・2カ国語放送の音声は「主+副」音声になっていませんか。(P.7)

接続したAV機器の映像、

音が出ない

・AV機器は正しく接続されていますか。(P.31～38)
・接続しているAV機器の電源は入っていますか。
・接続機器の入力端子と合ったビデオ入力ボタンを押していますか。
・入出力端子の設定は間違っていないか。(P.31)

BSチャンネルが選べない、

BSの音声切り換えができない

・BSジャックランプが点灯していませんか。
BSジャック中は切り換えられません。録画が終わっていたらBSジャックを解除してください。(P.29)

接続と準備

故障かな?仕様

故障かな？と思ったらまず確かめて(つづき)

症状

ここをお確かめください

突然電源が切れた

- ・オフタイマーを設定していませんか。(P.11)
- ・おトク設定や電源オートオフ機能を設定していませんか。(P.20)
- ・放送終了後に電源が切れた場合は、電源オートオフ機能が働いたためです(P.21)

無信号電源オートオフを「入」にしても、
放送終了後電源が切れない

- ・ご覧のチャンネルの放送が終了したあと、時折、別の放送局の映像が映ったり音声が変わるに聞こえたりしませんか。このようなとき、放送終了と判断せず、正常に動作しない場合があります。

画面表示が消えない

- ・ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいませんか。入力信号が無いときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.7)

●以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善されることもありますが、どうしてもさけられない場合もあります。

雪が降っているような画面(スノーノイズ)で雑音が出る

- ・アンテナは正しく接続されていますか。
- ・アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。
- ・アンテナの向きが変わっていたり、壊れたりしていませんか。

画像が2重、3重になる(ゴースト)

- ・山や建物などの影響が考えられます。また、放送局のアンテナが近い場合は、テレビに直接入る電波が影響していることも考えられます。

画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)

- ・ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます

画面にしみ模様が出る・雑音が出る(混信)

- ・無線局やパソコン・AV 機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます

本機が正常に操作できなくなった

- ・外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことが考えられます。電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

このようなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。

- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 磁石やスピーカーあるいはブースターなどを近づけたとき、画面がゆれたり色のむらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。

こんなメッセージが表示されたら

次のようなメッセージが表示されたときは、操作を中止するか、画面の指示にしたがって設定中の機能を解除してから再度操作してください。

メッセージ	対応
3時間無操作のためまもなく電源が切れます 続けて見る場合は音量ボタンを押して下さい	テレビ消し忘れ防止が「する」になっている。 →電源を切らないときは、音量ボタンを押してください。 →3時間以上操作しない場合でも電源が切れないようにしたいときは、テレビ消し忘れ防止を「しない」に設定してください。(P.22)
BSアンテナ電源を確認して下さい	共聴アンテナなど、他のBS機器から電源を供給しているとき、BS電源を「入(連動)」にした。 →BSアンテナ電源を「切」にしてください。(P.19)既に、「切」に設定されているときは、おトクボタンを押しおトク設定を「メニュー連動」にしてください。 BSアンテナやケーブル類、コネクタ部の劣化によるショートが考えられる。 →販売店に確認してもらってください。
BSジャック中のため操作できません	BSジャックを「入」にしているとき、以下の操作をしようとした。 ●BSアンテナ電源設定 ●BSデコーダー入力設定 ●BSジャックしたBSチャンネルを見ているときに、二重音声あるいはTV／独立音声を切り換えようとした。 →BS録画をしていないことを確認の上、BSジャックを「切」に設定し、再度操作してください。(P.29)
BSモードではありません	BSチャンネルが選ばれていないときに、以下の操作をしようとした。 ●BSアンテナ入力レベルの確認をしようとした。 ●BSアンテナ電源設定を変更しようとした。 ●TV／独立音声を変更しようとした。 ●BSジャックを「入」にしようとした。 ●他のBSチャンネルを選ぼうとした。 →BSチャンネルボタンを押してから再度操作してください。
ゲーム入力がビデオ2に設定されています	ゲーム入力の設定が「ビデオ2」に設定されているときに、BSデコーダー入力の設定を変えようとした。 →ゲーム入力を「ビデオ2」以外に設定し、再度操作してください(P.28)。

故障かな？と思ったらまず確かめて(つづき)

メッセージ	対応
TV/BSモードではありません	ビデオ入力を選んでいるときに、チャンネル編集や来週番組予約をしようとした →チャンネル1～12ボタンBS1～15ボタンを押し、再度操作をしてください。
TVモードではありません	ビデオ入力、BSチャンネルを選択しているときに地域チャンネル設定をしようとした。 →チャンネル1～12ボタンを押し、再度操作してください。
時計合わせをして下さい	本機の時計設定をしないで来週番組予約あるいは番組予約タイマー、おはようタイマーの設定をしようとした。あるいは番組予約確認をしようとした。 →本機の時計合わせをしてください。(P.10)
ビデオ2選択中のため操作できません	ビデオ2を選んでいるときに、BSデコーダー入力の設定を変えようとした。 →チャンネル1～12ボタンを押し、再度操作してください。
ビデオモード選択中のため操作できません	ビデオ入力を選んでいるときに音声切替ボタンを押した。 →音声の切り換えは、ビデオ側で行ってください。
無信号のためまもなく電源が切れます	無信号電源オートオフが「する」になっている。あるいは、おトク設定が「入」になっている。 →電源を切らないときは、無信号電源オートオフを「しない」に設定し(P.21)、おトクボタンを押しておトク設定を「メニュー運動」にしてください。(P.21)

主な仕様

項目	型名	AV-29HF8
種類	BSフラットビジョン	
受信方式	NTSC	
受信チャンネル	VHF 1~12/UHF 13~62/CATV C13~C38/ BS 1・3・5・7・9・11・13・15	
使用電源	AC100V、50/60Hz	
消費電力	158W、待機時0.6W	
年間消費電力量	182kW・h/年	
画面寸法(幅×高さ×対角)	54.1×40.6×67.6cm	
音声出力	10W+10W(8Ω)	
スピーカー	8cm×12cm 楕円型×2個	
アンテナ端子	VHF/UHF 75Ω、F型 BS 75Ω、F型(BSコンバーター用電源DC15V 4W重畳)	
入力・出力端子	ビデオ1/2/3/4入力端子 (ビデオ2はBSデコーダー入力と共用)	S映像 : Y 1V(ピーク値)、75Ω、同期負 C 0.286V(ピーク値)(バースト信号)、75Ω 映像 : 1V(ピーク値)、75Ω、同期負 音声 : 0.5V(実効値)、ハイインピーダンス
	コンポーネント映像入力端子 (ビデオ3)	Y 1V(ピーク値)、75Ω、同期負 CB、CR 0.7V(ピーク値)、75Ω
	モニター出力端子 (BS出力と共用)	S映像 : Y 1V(ピーク値)、75Ω、同期負 C 0.286V(ピーク値)(バースト信号)、75Ω 映像 : 1V(ピーク値)、75Ω、同期負 音声 : 0.5V(実効値)、ローインピーダンス
	ビットストリーム出力端子	0.5V(ピーク値)、75Ω
	検波出力端子	0.67V(ピーク値)、75Ω
	AFC入力端子	BTA S-1003に準拠
	ヘッドホン端子	直径 3.5mm ステレオミニジャック
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	73.2×58.5×50.9cm	
質量(重さ)	47.0 kg	
付属品	表紙をご覧ください。	
別売品	テレビスタンド RK-C28FA1、アンテナ混合器 VZ-84	

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※テレビの型(29型)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

※本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

※AV-29HF8は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

故障かな？
仕様

と相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 お買い物相談や製品についての全般的なご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社 お客様ご相談センター

別冊「共通取扱説明書」の
14～16ページをご覧ください。

東京 ☎ (03) 5684-9311 【代表】
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪 ☎ (06) 6765-4161 【代表】
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検 ●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

